Quality for You MUFG

2011年3月期（平成23年3月期）第2四半期

決 算 説 明 資 料

カブドットコム証券株式会社

（東証1部　8703）

2010年10月25日

FASF

kabu.com

カブドットコム証券

わたしたちはMUFGです。

Ⅰ. 決算概況

(P 3) 2011年3月期第2四半期 決算ハイライト
(P 4) 決算概況 (半期推移)
(P 5) 販管費概況 (半期推移)
(P 6) 決算概況 (四半期推移)
(P 7) 販管費概況 (四半期推移)
(P 8) 主要経営指標
(P 9) 純営業収益概況 (商品別)
(P10) 株式① 約定件数・約定金額
(P11) 株式② 手数料率
(P12) 株式③ 個人委託売買代金シェア
(P13) 株式④ 信用取引
(P14) 投資信託
(P15) 先物・オプション
(P16) 店頭ＦＸ (店頭外国為替証拠金取引)
(P17) 金融収支・信用建玉残高

Ⅱ. 当期の取り組み

(P19) 当期の主な取り組み (2010年4月 - 9月)
(P20) 三菱東京ＵＦＪ銀行との金融商品仲介事業の取り組み
(P21) 取引所デリバティブの取り組み
(P22) 店頭ＦＸ・大証ＦＸの取り組み
(P23) 投資信託の取り組み

Ⅲ. 経営目標

(P25) 当社の経営目標と株主還元策
(P26) 当社の戦略 ～マーケティング競争からインフラ競争の時代へ～
(P27) 当社の経営理念・経営方針

Ⅳ. その他 (業務計数等)

(P29) コストカバー率 (委託手数料ベース)
(P30) 営業収益経常利益率
(P31) 口座数
(P32) 預り資産
(P33) 株式差引入庫額
(P34) 投信・プチ株積立実績
(P35) 信用評価損益率
(P36) ＩＰＯ・ＰＯ取扱い件数
(P37) 年代別株式取引の状況 ～団塊世代の取込み～
(P38) モバイルチャネル
(P39) ＷＥＢサイトパフォーマンス
(P40) システム関連の開示
(P41) 私設取引システム (kabu.comPTS) 関連の開示
(P42) お客様サポートセンター関連の開示
(P43) 知的財産関連の活動状況
(P44) 個人株式売買代金、個人金融資産の動向

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Ⅰ．決算概況

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

2011年3月期 第2四半期 決算ハイライト

【2011年３月期 上期（４～９月）】

- ■ 営業収益 ： 70億円（前半期比 ＋ 1%、前年同期比 -14%）
- ■ 販管費 ： 41億円（ 同 - 1%、 同 - 6%）
- ■ 経常利益 ： 21億円（ 同 ＋ 3%、 同 -24%）
- ■ 当期純利益 ： 14億円（ 同 +16%、 同 -18%）

（参考）株式個人委託売買代金（三市場） 4,589億円/日（前半期比 -13%、前年同期比 -33%）
信用買建玉期末残高（三市場） 16,135億円 （前半期末比 +13%、前年同期末比 - 1%）

✓ 前年同期比（09年度上期比）では減収減益も、前半期比（09年度下期比）では増収増益を確保。
✓ 市況の低迷により手数料収入減少も、金融収支の増加、販管費の抑制等により前半期比増益。

（参考）【2011年３月期 第２四半期（７～９月）】

- ■ 営業収益 ： 29億円（前四半期比 - 26%、前年同期比 -22%）
- ■ 販管費 ： 19億円（ 同 - 8%、 同 - 8%）
- ■ 経常利益 ： 7億円（ 同 - 46%、 同 -41%）
- ■ 当期純利益 ： 4億円（ 同 - 57%、 同 -40%）

（参考）株式個人委託売買代金（三市場） 3,804億円/日（前四半期比 -29%、前年同期比 -39%）
信用買建玉期末残高（三市場） 16,135億円 （前四半期末比 -19%、前年同期末比 - 1%）

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Quality for You MUFG

決算概況（半期推移）

- ✓ 株式個人委託売買代金は前半期比13%減少も、株式シェア上昇およびＦＸ収益増加等により、受入手数料は４%減少にとどまる。信用残高の増加等により金融収支が12%増加し、純営業収益は１%増加。
- ✓ システム関連費の減少等による販管費抑制もあり、経常利益は前半期比３%増加となり、前半期比増収増益を確保。

（単位：百万円）

	2009年3月期		2010年3月期		2011年3月期	前半期比	前年同期比
	上期（4-9月）	下期（10-3月）	上期（4-9月）	下期（10-3月）	上期（4-9月）		
営業収益	8,706	8,037	8,131	6,953	7,020	+1%	-14%
受入手数料	5,708	5,523	5,589	4,468	4,288	-4%	-23%
金融収益	2,999	2,514	2,542	2,484	2,731	+10%	+7%
金融費用	838	916	850	677	712	+5%	-16%
（金融収支＝金融収益－金融費用）	2,160	1,597	1,691	1,806	2,019	+12%	+19%
純営業収益	7,868	7,120	7,280	6,275	6,307	+1%	-13%
販管費	4,558	4,405	4,431	4,191	4,161	-1%	-6%
営業利益	3,310	2,714	2,849	2,083	2,146	+3%	-25%
経常利益	3,250	2,746	2,812	2,092	2,151	+3%	-24%
税引前純利益	3,539	2,636	3,065	2,162	2,520	+17%	-18%
当期純利益	2,091	1,552	1,808	1,284	1,487	+16%	-18%
ＲＯＥ（自己資本純利益率）	11.1%	8.7%	10.6%	8.9%	8.5%	-5%	-20%
（参考）三市場株式個人委託売買代金（/日）　単位：億円	7,325	5,902	6,808	5,293	4,589	-13%	-33%
（参考）三市場信用取引期末買残高　単位：億円	18,154	8,987	16,344	14,288	16,135	+13%	-1%
（参考）当社約定金額（/日）　単位：億円	443	347	420	337	318	-6%	-24%

※三市場株式個人委託売買代金（/日）、三市場信用買建玉期末残高は、東京証券取引所公表資料より当社算出

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

販管費概況（半期推移）

- ✓ 販管費は4,161百万円と前半期比1％減少。
- ✓ 金商法書類発送費用等の一時要因により取引関係費および事務費が増加。人員増により人件費、会計基準変更の影響等によりその他が増加。
- ✓ システム資産の償却が進んだこと等により、システム関連費が減少。

（単位：百万円）

	2009年3月期		2010年3月期		2011年3月期	前半期比	前年同期比
	上期（4-9月）	下期（10-3月）	上期（4-9月）	下期（10-3月）	上期（4-9月）		
販管費合計	4,558	4,405	4,431	4,191	4,161	-1%	-6%
取引関係費	2,004	1,847	1,872	1,737	1,770	+2%	-5%
広告宣伝費	145	149	199	180	143	-21%	-28%
その他	1,858	1,697	1,673	1,557	1,627	+5%	-3%
人件費	477	476	490	466	490	+5%	-0%
不動産関係費	1,040	1,052	963	1,059	902	-15%	-6%
事務費	419	382	413	320	350	+10%	-15%
減価償却費	321	377	433	482	485	+1%	+12%
租税公課	65	65	68	61	73	+20%	+8%
貸倒引当金繰入	161	134	50	0	11	-	-78%
その他	68	68	138	64	75	+18%	-45%
（参考）システム関連費	1,781	1,812	1,810	1,862	1,739	-7%	-4%

※ システム関連費＝不動産関係費＋事務費＋減価償却費

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Quality for You
MUFG

決算概況（四半期推移）

- ✓ 三市場株式個人委託売買代金は前四半期比29%減少であったが、信用取引比率上昇による株式手数料率の低下等により、受入手数料は31%減少。
- ✓ 販管費は、システム関連費の抑制等があったが、前四半期比8%の減少にとどまる。

（単位：百万円）

	2010年3月期				2011年3月期		前四半期比	前年同期比
	第1四半期（4-6月）	第2四半期（7-9月）	第3四半期（10-12月）	第4四半期（1-3月）	第1四半期（4-6月）	第2四半期（7-9月）		
営業収益	4,296	3,834	3,565	3,387	4,042	2,977	-26%	-22%
受入手数料	2,988	2,600	2,240	2,228	2,536	1,752	-31%	-33%
金融収益	1,308	1,234	1,325	1,159	1,506	1,225	-19%	-1%
金融費用	502	348	412	265	486	226	-53%	-35%
（金融収支＝金融収益－金融費用）	805	885	912	894	1,020	998	-2%	+13%
純営業収益	3,794	3,486	3,153	3,122	3,556	2,751	-23%	-21%
販管費	2,250	2,180	2,062	2,129	2,162	1,998	-8%	-8%
営業利益	1,543	1,306	1,090	992	1,394	752	-46%	-42%
経常利益	1,535	1,276	1,149	942	1,397	753	-46%	-41%
税引前純利益（四半期）	1,786	1,278	1,197	965	1,763	757	-57%	-41%
当期純利益（四半期）	1,057	751	703	580	1,040	447	-57%	-40%
（参考）三市場株式個人委託売買代金（/日）単位：億円	7,450	6,215	5,017	5,556	5,387	3,804	-29%	-39%
（参考）三市場信用買建玉期末残高　単位：億円	15,096	16,344	14,299	14,288	19,836	16,135	-19%	-1%
（参考）当社約定金額（/日）　単位：億円	452	388	321	353	380	258	-32%	-33%

※三市場株式個人委託売買代金（/日）、三市場信用買建玉期末残高は、東京証券取引所公表資料より当社算出

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

販管費概況（四半期推移）

- ✓ 市況低迷に伴い変動費減少効果があるも、金商法書類発送費用の計上により、取引関係費、事務費ともに9％の減少にとどまる。
- ✓ 第2四半期中に大型リース物件の償却が終了。リース料を含むシステム関連費の減少が本格化。今年度末以降も、継続的に大型システム資産の償却終了予定。

（単位：百万円）

	2010年3月期				2011年3月期		前四半期比	前年同期比
	第1四半期（4-6月）	第2四半期（7-9月）	第3四半期（10-12月）	第4四半期（1-3月）	第1四半期（4-6月）	第2四半期（7-9月）		
販管費合計	2,250	2,180	2,062	2,129	2,162	1,998	-8%	-8%
取引関係費	936	936	865	871	926	844	-9%	-10%
広告宣伝費	106	92	102	78	83	59	-28%	-35%
その他	829	844	763	793	843	784	-7%	-7%
人件費	239	251	237	229	251	238	-5%	-5%
不動産関係費	465	497	524	535	464	438	-6%	-12%
事務費	219	194	140	180	184	166	-9%	-14%
減価償却費	217	215	227	254	237	248	+4%	+15%
租税公課	36	31	35	26	50	23	-53%	-26%
貸倒引当金繰入	49	1	0	0	10	0	-91%	-26%
その他	86	51	31	32	37	38	+3%	-26%
（参考）システム関連費	902	907	891	970	886	853	-4%	-6%

※ システム関連費＝不動産関係費＋事務費＋減価償却費

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

主要経営指標

- ✓ ＲＯＥは8.5%（年換算）と再び10%割れ。収益増強、経営・資本効率の改善等により経営目標とするＲＯＥ20%を目指す。
- ✓ コストカバー率（委託手数料/販管費）は64%と悪化。

	2010年3月期				2011年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
ROE （自己資本利益率） *累計値の年換算で算出	12.5%	10.6%	9.7%	8.9%	11.9%	8.5%
営業収益経常利益率	36%	33%	32%	28%	35%	25%
コストカバー率 （委託手数料/販管費）	112%	99%	85%	85%	93%	64%
コストカバー率 （委託手数料/システム関連費）	279%	238%	196%	186%	226%	151%
自己資本規制比率	555%	570%	614%	638%	521%	560%

※ 営業収益経常利益率＝経常利益÷営業収益、システム関連費＝不動産関係費＋事務費＋減価償却費

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

純営業収益概況（商品別）

- ✓ 株式個人委託売買代金の減少等により、株式委託手数料は前四半期比37%減少。他商品手数料も前四半期比で減少。
- ✓ 投資信託、外国為替証拠金取引、金融収支は前年同期比増加。
- ✓ 先物・オプションは8月からの手数料引下げによりシェア上昇も、手数料減少。

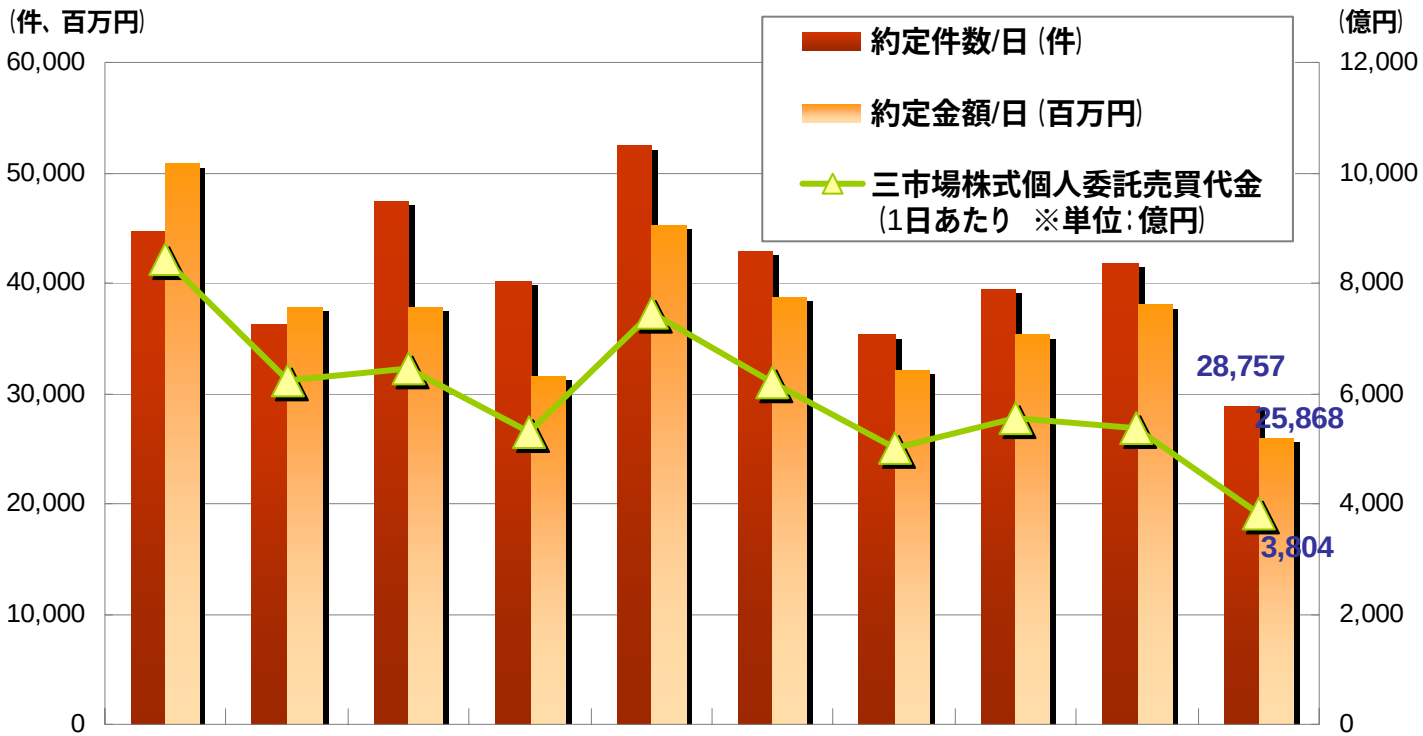
（単位：百万円）

	2010年3月期				2011年3月期			前四半期比	前年同期比
	第1四半期（4-6月）	第2四半期（7-9月）	第3四半期（10-12月）	第4四半期（1-3月）	第1四半期（4-6月）	第2四半期（7-9月）	比率		
株式	2,146	1,756	1,335	1,416	1,562	984	36%	-37%	-44%
（現物）	1,376	1,116	797	854	964	562	20%	-42%	-50%
（信用）	769	639	537	561	597	422	15%	-29%	-34%
先物・オプション	351	389	399	379	433	296	11%	-32%	-24%
投信信託	98	101	124	120	143	130	5%	-9%	+29%
外国為替証拠金取引	205	200	195	148	229	201	7%	-12%	+1%
その他受入手数料	186	152	184	163	167	138	5%	-17%	-9%
受入手数料合計	2,988	2,600	2,240	2,228	2,536	1,752	64%	-31%	-33%
金融収支	805	885	912	894	1,020	998	36%	-2%	+13%
純営業収益	3,794	3,486	3,153	3,122	3,556	2,751	100%	-23%	-21%

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

株式① 約定件数・約定金額

✓ 三市場株式個人委託売買代金が前四半期比29%減少したこと等により、株式約定件数および株式約定金額も減少。



	2008年				2009年				2010年	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
約定件数/日 (件)	44,605	36,141	47,474	40,136	52,475	42,811	35,400	39,505	41,832	28,757
約定金額/日 (百万円)	50,899	37,875	37,872	31,520	45,258	38,818	32,150	35,353	38,043	25,868
三市場株式個人委託売買代金 (1日あたり ※単位:億円)	8,426	6,224	6,460	5,286	7,450	6,215	5,017	5,556	5,387	3,804

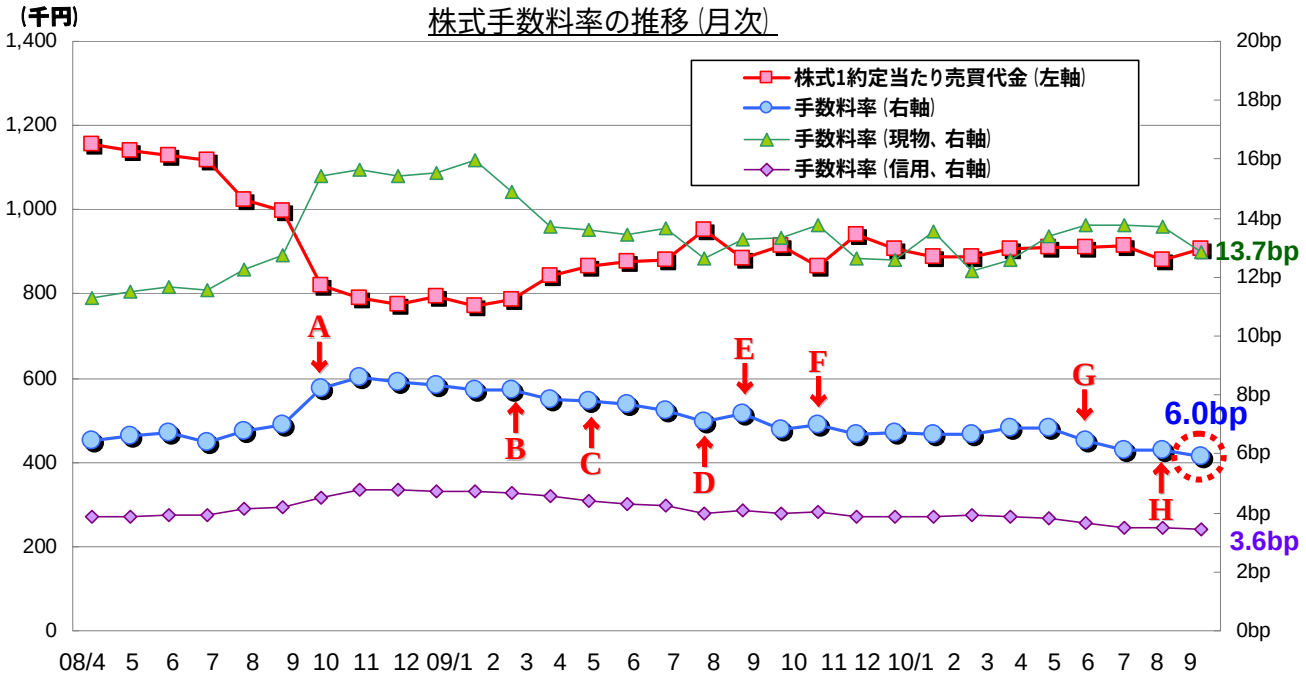
※ 三市場株式個人委託売買代金 (1日あたり) は、東京証券取引所公表資料より当社算出

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

株式② 手数料率

✓ 株式1約定当たり売買代金は前四半期比ほぼ横ばいも、現物比率の低下により手数料率は下落。

2008/10: 信用取引手数料の一部引き下げ (A)
2009/03: 信用取引大口顧客 (1億円以上) の手数料無料化 (B)
2009/05: 「プチ株®」手数料の引き下げ (C)
2009/08: 信用取引大口顧客の手数料無料化対象 (9,000万円以上) 拡大 (D)
2009/09: 信用取引大口顧客の手数料無料化対象 (8,000万円以上) 拡大 (E)
2009/11: 「自動最良執行注文」の手数料を引き下げ (F)
2010/06: 「フリーETF」の提供開始 (G)
2010/08: 信用取引大口顧客の手数料無料化対象 (7,000万円以上) 拡大 (H)



		2008年				2009年				2010年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
手数料率	(四半期)	6.6 bp	6.7 bp	8.4 bp	8.2 bp	7.8 bp	7.3 bp	6.8 bp	6.7 bp	6.7 bp	6.1 bp
	(年度)	7.4 bp				7.2 bp				6.5 bp	
現物比率	(当社)	35.3%	32.8%	34.4%	32.7%	36.8%	35.3%	30.9%	31.9%	31.7%	25.7%
	(三市場)	40.7%	39.0%	41.6%	40.4%	44.7%	45.0%	42.6%	43.9%	43.1%	38.8%

※手数料率は、株式委託手数料÷株式約定金額 にて算出

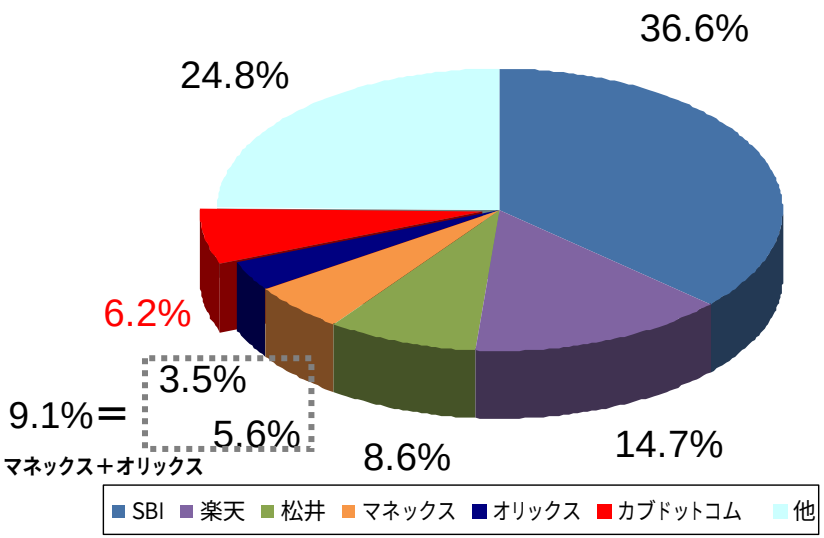
© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Quality for You

株式③ 個人委託売買代金シェア

✓ 当社株式個人委託売買代金シェア（三市場）は前年同四半期比で0.6ポイントの増加。

2010年3月期 第2四半期（7 - 9月）

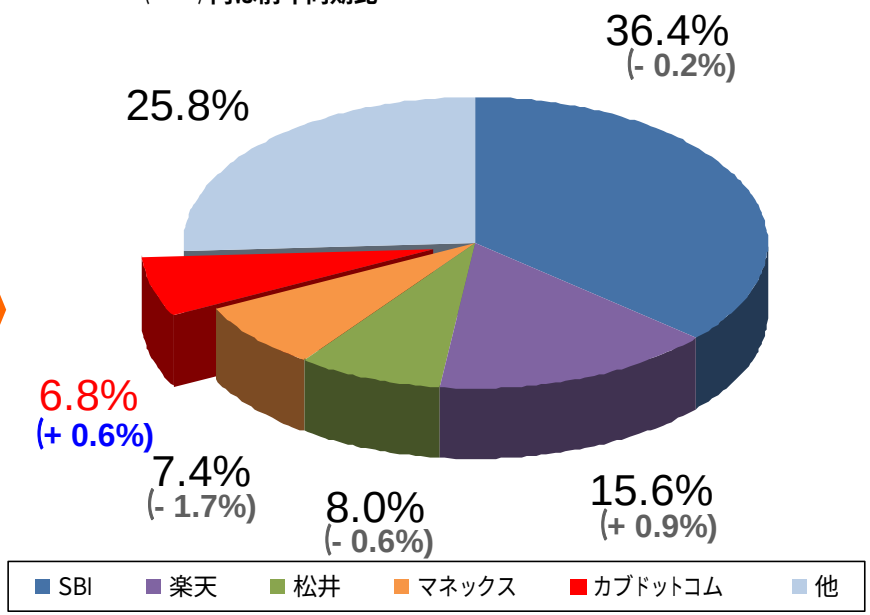


オンライン証券大手5社*計 75.2%

＊マネックス証券との合併前のオリックス証券含む

2011年3月期 第2四半期（7 - 9月）

＊（ ）内は前年同期比



オンライン証券大手5社計 74.2%

※ 東京証券取引所公表資料、各社公表資料より当社算出

※ SBI証券は、対面取引の売買代金を含む

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

株式④ 信用取引

- ✓ 2010年9月の信用取引シェアは松井証券を超え、大手5社中3位。
- ✓ 格付は主要ネット証券最上位のA+*。良好な財務体質を活かして手数料無料枠を拡大。
- ✓ 一般信用売り建て銘柄の追加や委託保証金率の引下げなど、サービスも拡充。

*：日本格付研究所（JCR）の長期債務格付け。2010年9月13日更新。

主要ネット証券5社の信用取引シェア（2010年4月～9月）

	10年4月	10年5月	10年6月	10年7月	10年8月	10年9月
SBI	41.4%	42.2%	44.5%	40.4%	39.5%	38.2%
楽天	17.2%	17.3%	18.9%	17.2%	16.4%	16.5%
カブドットコム	7.9%	8.4%	8.9%	8.1%	8.4%	8.4%
松井	9.8%	9.3%	9.3%	8.5%	8.5%	8.2%
マネックス	5.3%	9.4%	9.1%	7.9%	7.4%	7.3%

※東京証券取引所公表資料、各社公表資料等より当社作成。
※シェアは、（各社信用取引約定金額/日）÷（個人三市場信用取引約定金額/日）にて算出。

信用取引シェアは、大手5社中3位に（2010年9月）

主要ネット証券の格付比較（JCRとR&Iのみ）

	格付機関	
	JCR	R&I
A+	カブドットコム	
A		
A-		
BBB+	松井 マネックス	松井 SBI
BBB		楽天

高格付

同業他社比3ノッチ以上の高格付け

※ 2010年10月22日現在。開示情報より当社作成。
※当社、マネックスはR&Iの格付け未取得。SBI、楽天はJCRの格付け未取得。

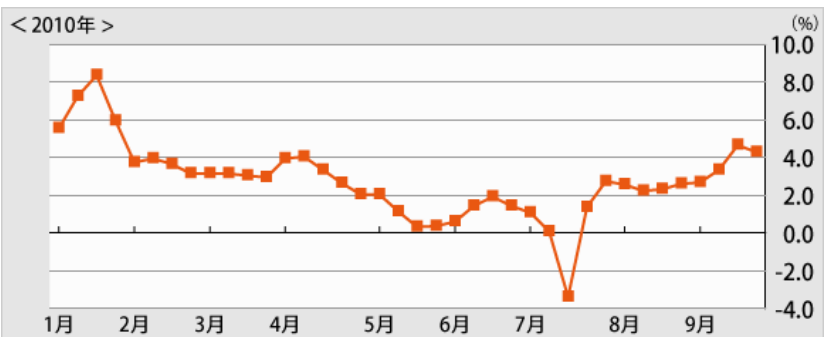
一般信用売り建て 取扱銘柄数

カブドットコム	松井	SBI	楽天	マネックス
536銘柄	472銘柄	×	×	×

※ 2010年10月22日現在の取扱銘柄数。各社ホームページ等より当社作成。
※「×」＝取扱いなし

MUFGグループ力活用などで、一般信用取扱いを強化。
一般信用売建の取扱い銘柄数は、大手5社中トップ。

当社信用評価損益率 三市場較差（買建のみ）

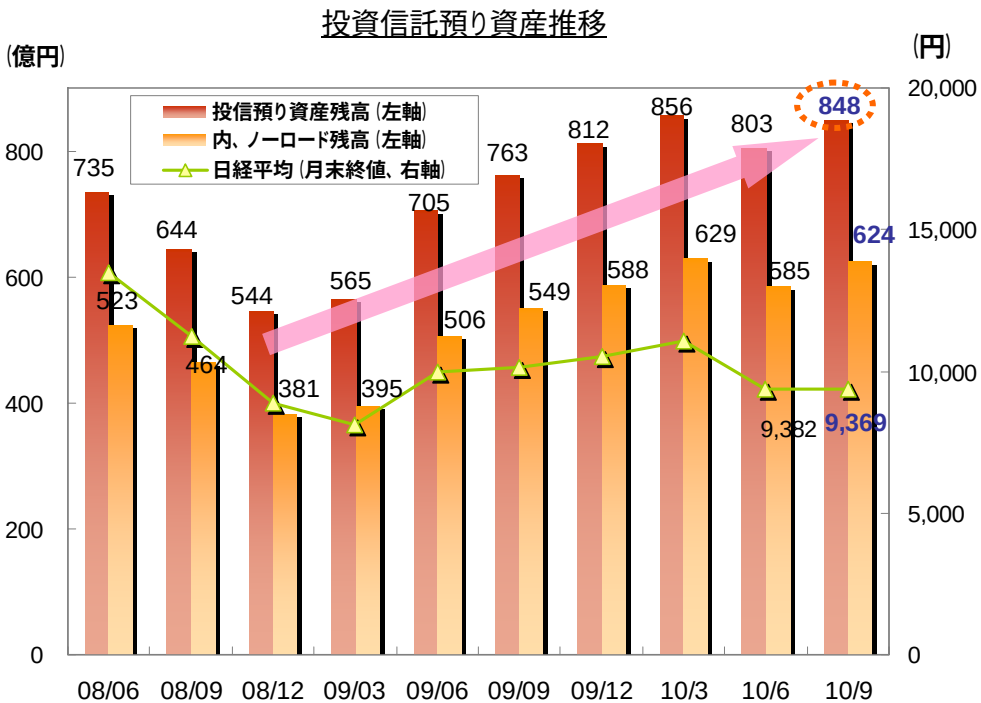


※ 2010年7月中旬の下落は、一部大型銘柄の特殊要因によるもの。

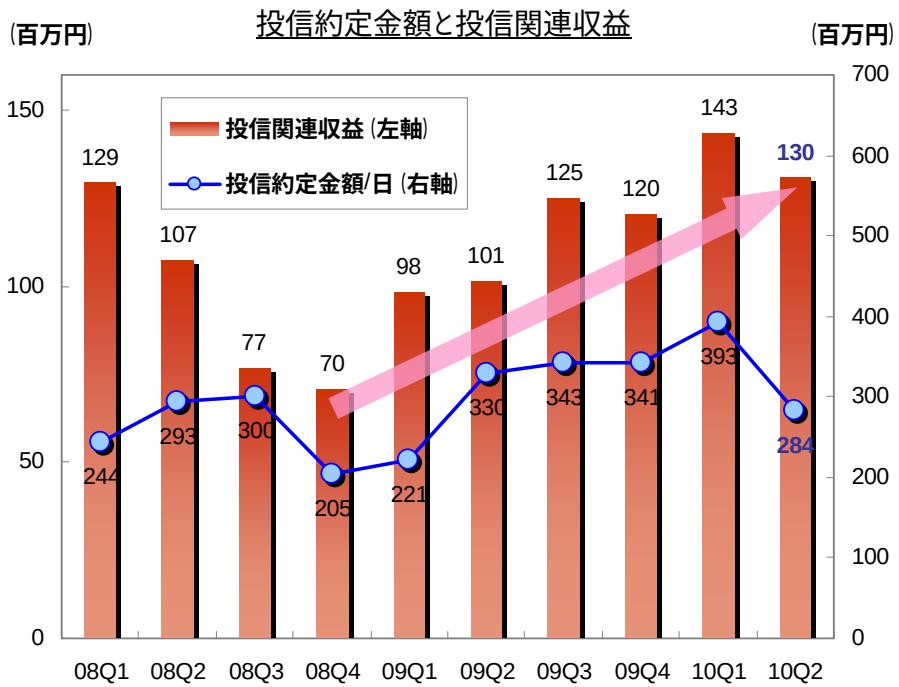
© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

投資信託

- ✓ 日経平均はほぼ横ばいも、投信預り資産残高は848億円と前四半期末比6%の増加。
- ✓ 投信預り資産残高の増加に従い、投信関連収益も増加基調。



※ 投信預り資産残高は四半期末の残高、時価ベースにて算出



※ 投信関連収益＝投信募集手数料＋投信信託報酬

※ 投信約定金額には、MMF、中期国債ファンドの設定･解約金額は含まない

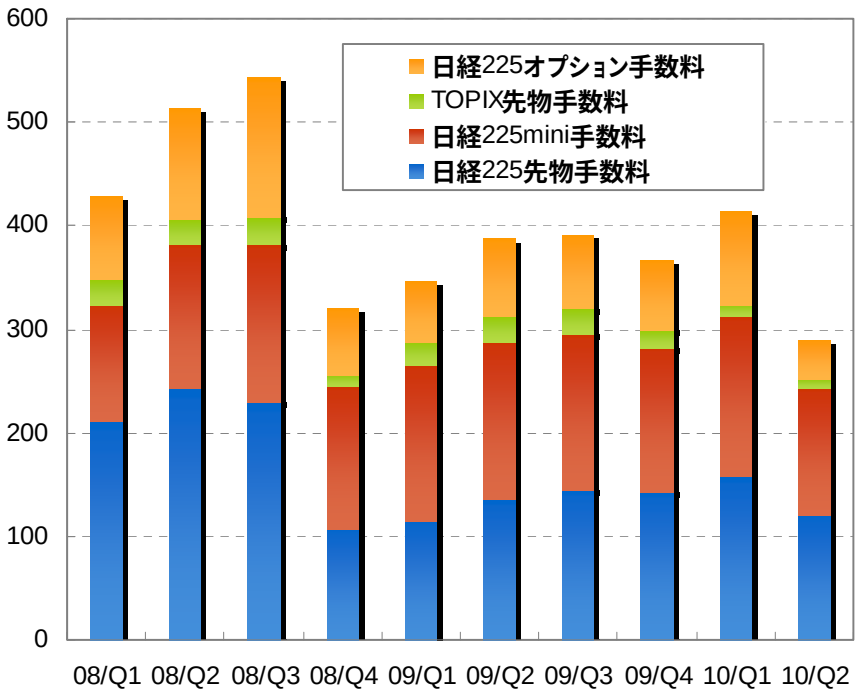
© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Quality for You MUFG

先物・オプション

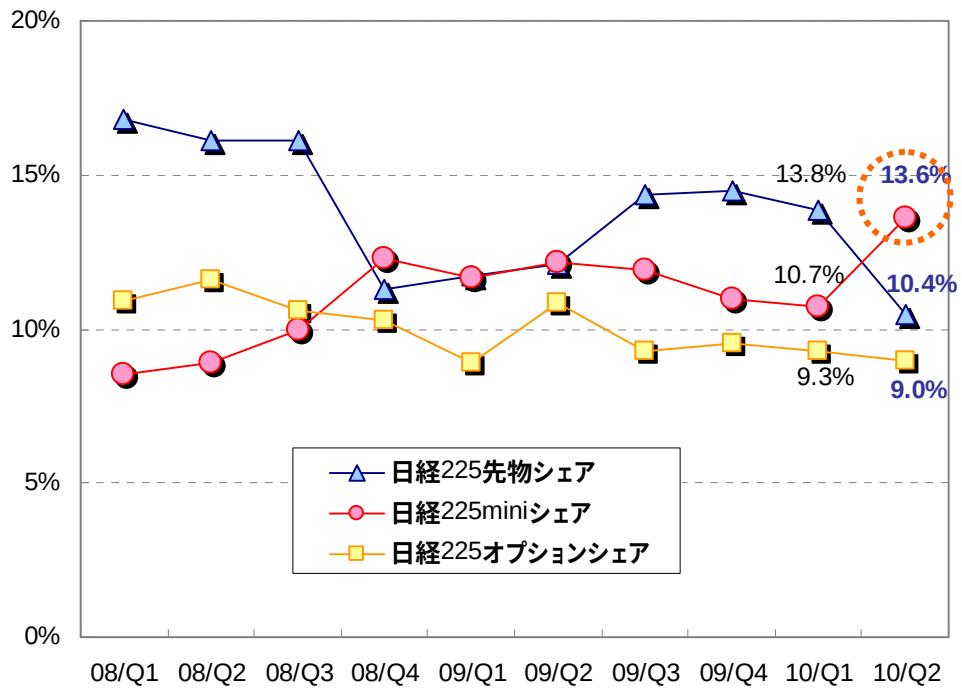
- ✓ 手数料引き下げ（2010年8月～）等により、日経225miniのシェアは増加。
- ✓ 日経225先物（ラージ）、日経225オプションのシェアは伸び悩む。なお、日経225オプションの10月第1～2週のシェアは11.3%。
- ✓ 高速システム導入などの施策により、シェア上昇を目指す。

先物・オプション手数料



※ミニTOPIX先物、東証REIT指数先物、TOPIX Core30先物、CME日経225先物は含まず

先物・オプションの当社シェア



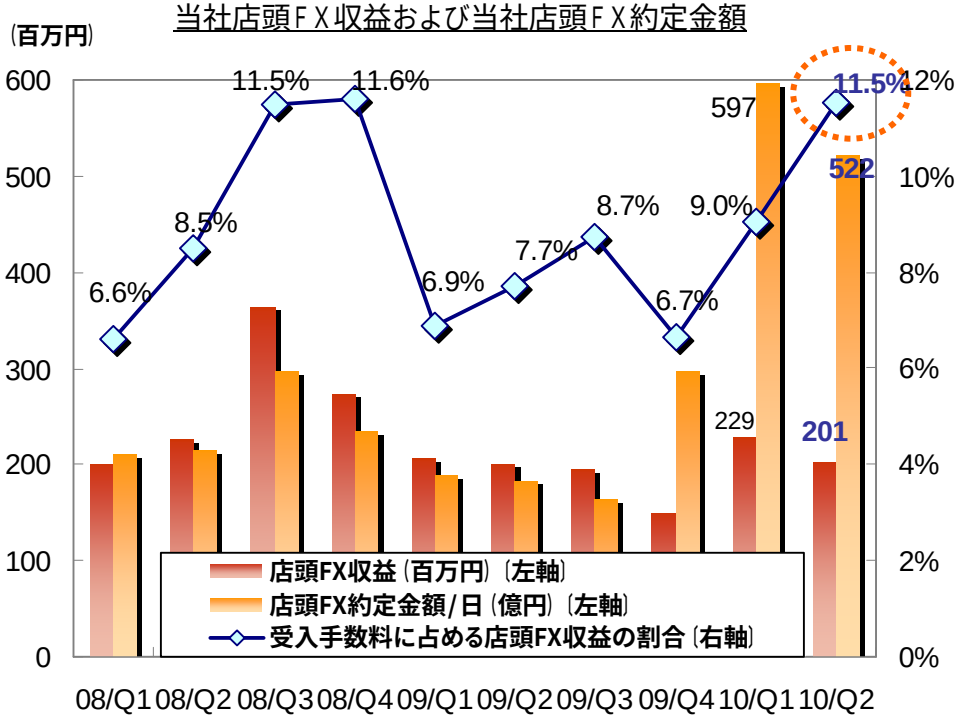
※大阪証券取引所公表資料より当社算出。
※シェアは、商品毎の個人市場売買代金に占める割合。

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

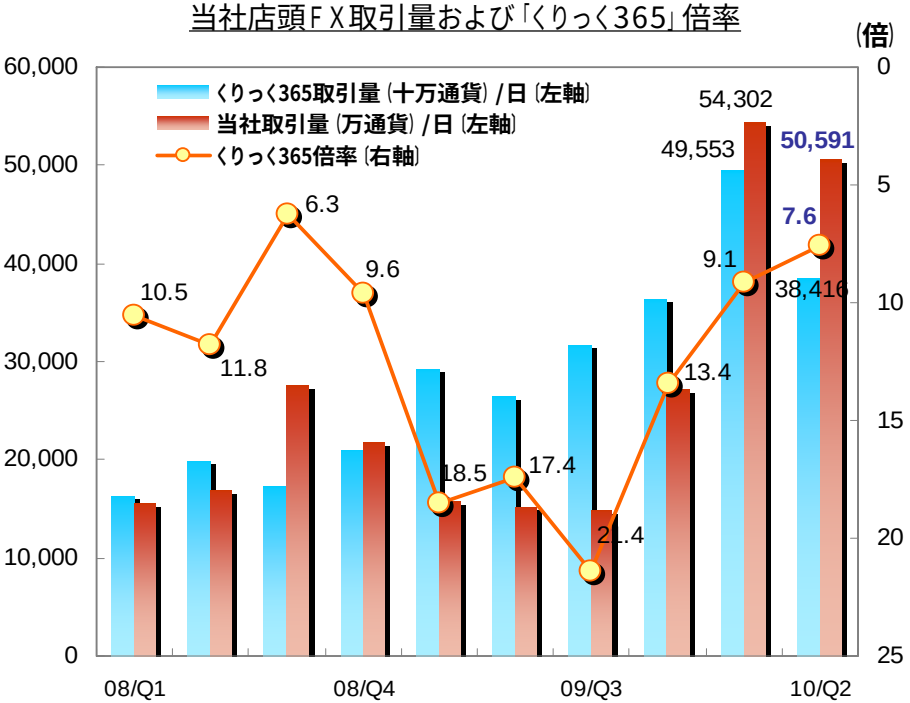
店頭ＦＸ（店頭外国為替証拠金取引）

- ✓ 店頭ＦＸ約定金額（１日あたり）は前四半期比13%の減少。店頭ＦＸ収益は前四半期比12%減少。
- ✓ スプレッド縮小等の取り組みにより、対くりっく365取引量との格差は徐々に縮小。

当社店頭ＦＸ収益および当社店頭ＦＸ約定金額



当社店頭ＦＸ取引量および「くりっく365」倍率



※くりっく365倍率 ＝ くりっく365取引量 ÷ 当社取引量
※くりっく365取引高は、東京金融取引所公表数値より当社算出。

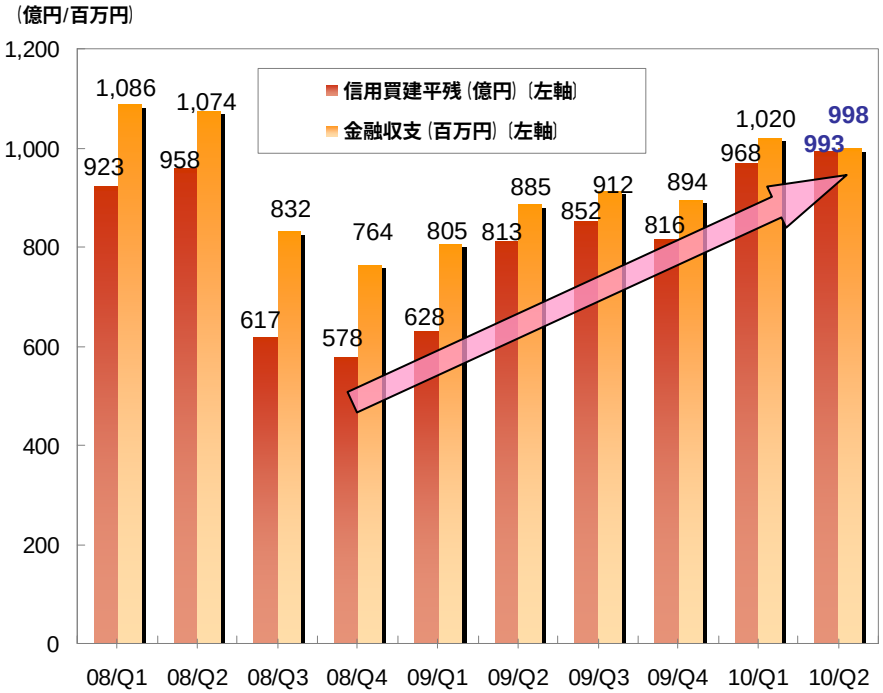
© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Quality for You
MUFG

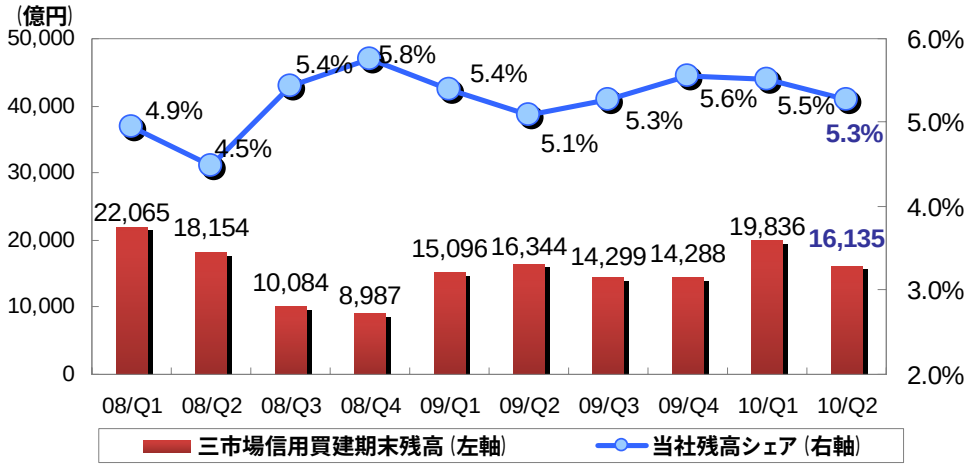
金融収支･信用建玉残高

✓ 信用買建平残は993億円と前四半期比3%増加も、貸株配当に係る収支の減少、および分別金運用益の減少により、金融収支は998百万円と前四半期比2%減少。

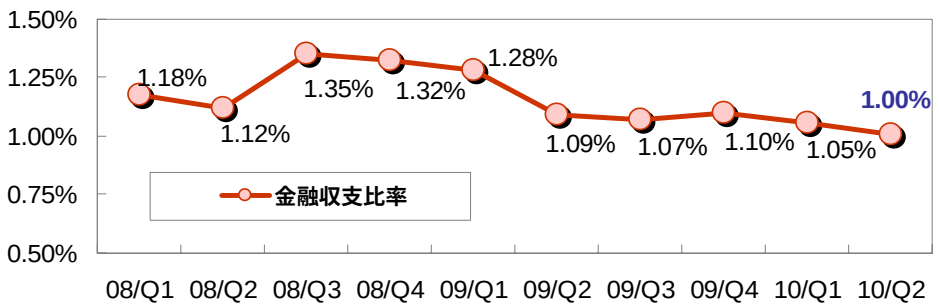
当社の信用買建平残と金融収支



三市場信用買建期末残高と当社シェア



信用買建平残額に対する金融収支比率



※三市場信用買建期末残高は東京証券取引所公表数値
※三市場信用買建平残は東京証券取引所公表の週次データの単純平均値 (当社算出)
※当社信用買建平残は、当社信用取引貸付金の日次残高の単純平均値
※金融収支比率は当該計算期間の金融収支額 (金融収益-金融費用) を、当社信用買建平残により除した比率

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Ⅱ．当期の取り組み

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

当期の主な取り組み（2010年4月～9月）

1Q

- ✓ 毎月分配投信や中国A株ブルベアファンドなど6ファンドを新規追加（4月）
- ✓ 一般信用の売建可能銘柄を523銘柄に拡大（4月）
- ✓ 火曜・木曜限定のＦＸスプレッド縮小キャンペーンを実施（5月）
- ✓ 外国為替証拠金取引（ＦＸ）「Ａｎｄｒｏｉｄ/iＰｈｏｎｅ版」の提供開始（5月）
- ✓ 主要ネット証券初の「電子口座開設」スタート（6月）
- ✓ 「フリーＥＴＦ」（特定のＥＴＦ売買手数料を無料とするサービス）の提供開始（6月）

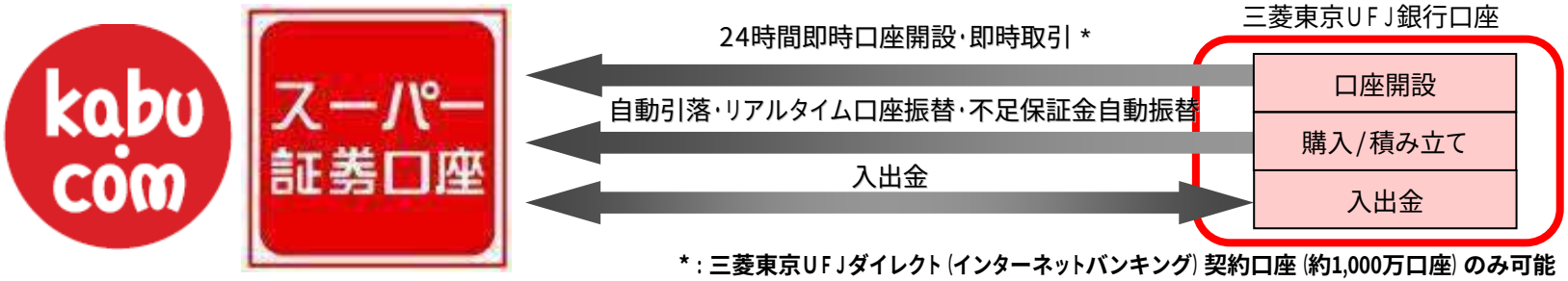
2Q

- ✓ 「貴金属上場投信」を上場初日から取扱い（7月）
- ✓ 私設市場（kabu.comPTS）の日本証券クリアリング機構（JSCC）接続（7月）
- ✓ 「保証金（証拠金）自動維持システム」に関する特許権取得（7月）
- ✓ ＦＸスプレッド縮小キャンペーンの実施（7月、8月、9月）
- ✓ 業界初の取次処理速度を保証する手数料体系（「1秒保証」）の導入（8月）
- ✓ 先物・オプション取引の高速新システム導入（8月）
- ✓ 先物・オプション取引手数料を主要ネット証券最低水準に引き下げ（8月）
- ✓ 上場・店頭カバードワラント取引手数料を業界最低水準に引き下げ（8月）
- ✓ 携帯用無料トレーディングツール「kabuアプリ」大幅バージョンアップ（8月）
- ✓ 大証ＦＸを業界最低手数料で取扱い開始（9月）
- ✓ 三菱東京ＵＦＪ銀行テレビ窓口限定キャンペーン実施（9月）
- ✓ ＣＭＥ日経225先物取引のリアルタイムチャート等をほぼ24時間提供開始（9月）
- ✓ iアプリ用トレーディングツール「kabu.com店頭FX」の提供開始（9月）
- ✓ 新興国株式ファンド、インデックスファンドなど投資信託の新規取扱い（9月）

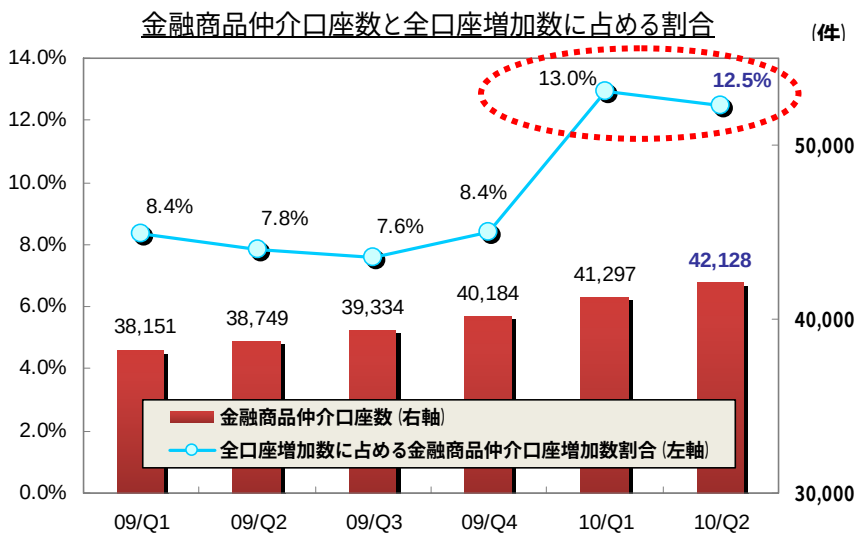
© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

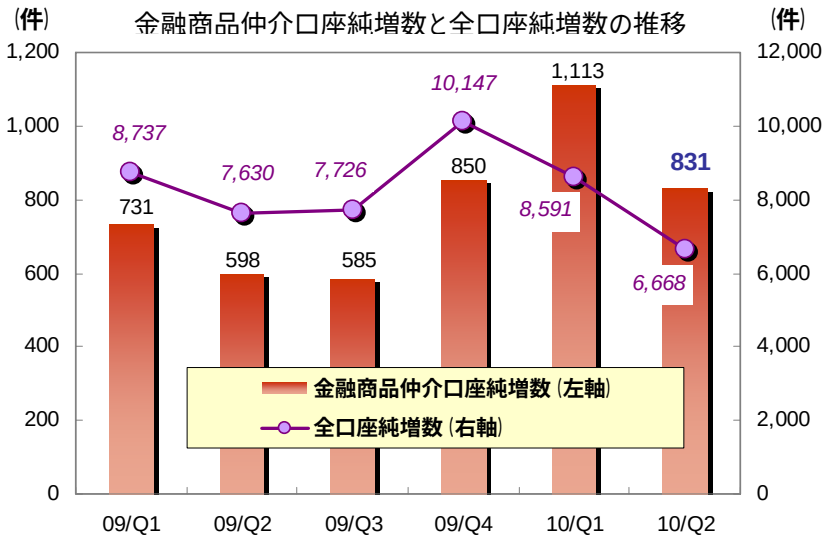
三菱東京ＵＦＪ銀行との金融商品仲介事業の取り組み

- ✓ 三菱東京ＵＦＪ銀行（ＢＴＭＵ）を中心としたＭＵＦＧグループ各社からの金融商品仲介口座は、当期中の純増数の全口座純増数に占める割合は12.5%と前年同期比4.7ポイント増。全口座純増数が落ち込む中、着実に連携効果を発揮。
- ✓ 今年度の口座獲得施策第2弾として、ＢＴＭＵ テレビ窓口で「カブドットコム証券で口座開設＆取引しよう！キャンペーン」（9月1日～11月30日）を展開中。ＢＴＭＵとの施策強化・連携強化により、銀行顧客の更なる獲得を図る。



＊：三菱東京ＵＦＪダイレクト（インターネットバンキング）契約口座（約1,000万口座）のみ可能





© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Quality for You MUFG

取引所デリバティブの取り組み

- ✓ 取引所デリバティブは主要ネット証券唯一、フルラインアップ・フルタイム対応。2010年9月17日より、「大証ＦＸ」の取扱いを開始。
- ✓ 先物、オプション、カバードワラント、大証ＦＸ手数料を主要ネット証券最低水準で提供。
- ✓ 先物・オプション取引システムの取次処理速度高速化。大証新システムへの対応進める。

主要ネット証券　取引所デリバティブ取扱状況

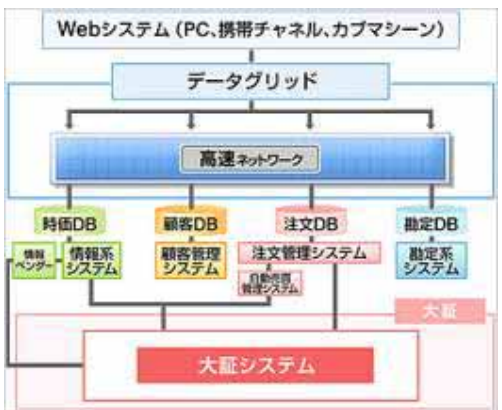
		カブコム	松井	マネックス	SBI	楽天
日経225先物	大証	○	○	○	○	○
日経225mini	大証	○	○	○	○	○
TOPIX先物	東証	○	×	×	×	×
ミニTOPIX先物	東証	○	×	×	×	×
東証REIT指数先物	東証	○	×	×	×	×
TOPIX Core30先物	東証	○	×	×	×	×
CME日経225先物（夜間先物取引）	CME	○	○	×	×	10/23～
日経225オプション	大証	○	○	○	○	○
大証FX	大証	○	○	○	×	×
上場カバードワラント	大証	○	×	×	×	×
くりっく365	金融取	取扱予定	×	×	×	×
くりっく株365	金融取	取扱予定	―	取扱予定	―	―
配当指数先物	東証	取扱予定	×	×	×	×

※2010年10月22日時点。各社ホームページより当社作成。
※他社の「取扱予定」は、各社公表情報に基づく。
※大証＝大阪証券取引所、東証＝東京証券取引所、金融取＝東京金融取引所、CME＝シカゴ・マーカンタイル取引所

主要ネット証券 取引所デリバティブ手数料比較　（※青字・下線は5社中当社最安値）

		カブコム	松井	マネックス	SBI	楽天
日経225先物	大証	987円	525円	346.5円	525円	472.5円
日経225mini	大証	52.5円	105円	52.5円	52.5円	52.5円
TOPIX先物	東証	525円	×	×	×	×
ミニTOPIX先物、東証REIT指数先物、TOPIX Core30先物	東証	52.5円	×	×	×	×
CME日経225先物	CME	987円	1,050円	×	×	840円
日経225オプション ※（ ）は最低手数料	大証	0.21%（105円）	0.21%（210円）	0.19%（189円）	0.21%（210円）	0.21%（210円）
大証FX	大証	105円	210円	147円	×	×
上場カバードワラント	大証	105円	×	×	×	×

大証次期デリバティブ売買システム（J－GATE）への対応



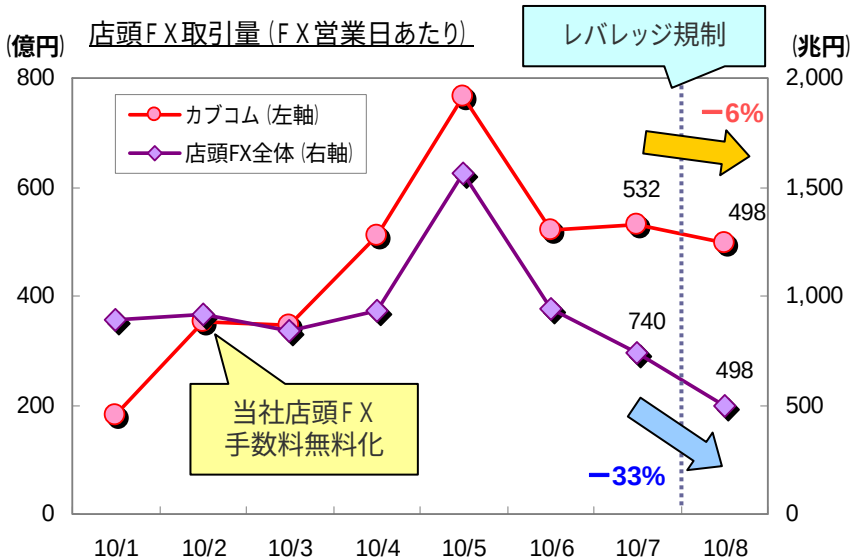
2010/8：
先物・オプション取引システム刷新
2011/2（予定）：
大証コロケーションサービスの採用

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

店頭ＦＸ・大証ＦＸの取り組み

- ✓ レバレッジ規制により、8月の店頭ＦＸ全体の取引量は前月比33%減少。当社店頭ＦＸの取引量は、スプレッド縮小キャンペーンの効果等もあり、前月比6%減少にとどまる。
- ✓ 9月17日より「大証ＦＸ」取扱開始。業界初の、自社システム開発による大証ＦＸ直結。
- ✓ 手数料も業界最低水準（105円/枚）で提供。10月30日まで手数料無料キャンペーン。

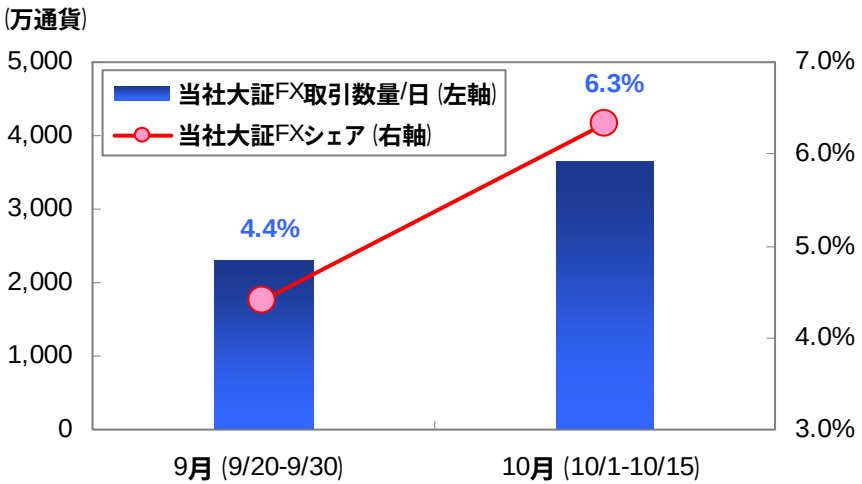
店頭ＦＸ取引量（ＦＸ営業日あたり）



※店頭FX全体の取引量は、金融先物取引業協会公表資料より当社算出。

大証ＦＸの初動状況

大証ＦＸ取引口座数：1,725口座（2010年9月末現在）



※大阪証券取引所公表資料より当社作成。
※当社大証シェアは、（当社取引数量）÷（大証FX取引数量×2） にて算出。

店頭ＦＸ手数料・スプレッド比較

		カブコム	松井	楽天	SBI	マネックス
取引手数料		無料	有料	無料	無料	無料
スプレッド	米ドル/円	2銭（1銭*）	4銭	1.9銭	1〜2銭	原則2銭
	ユーロ/円	3銭（2銭*）	4銭	4銭	3〜4銭	原則4銭
	ポンド/円	4銭（3銭*）	10銭	6.5銭	5〜6銭	原則6銭
	豪ドル/円	3銭	8銭	3.9銭	3〜4銭	原則4銭
	ランド/円	3銭	8銭	4.8銭	3〜4銭	原則5銭

＊（ ）は当社キャンペーンスプレッド。他社は通常スプレッド。

大証ＦＸ手数料比較

カブドットコム	コスモ	岩井	マネックス	野村	ひまわり
105円	105円	147円〜105円	147円	150円	190円〜105円
むさし	光世	インヴァスト	マネックスFX	松井	ゆたか
210円〜105円	210円*	210円*	210円	210円	2100円

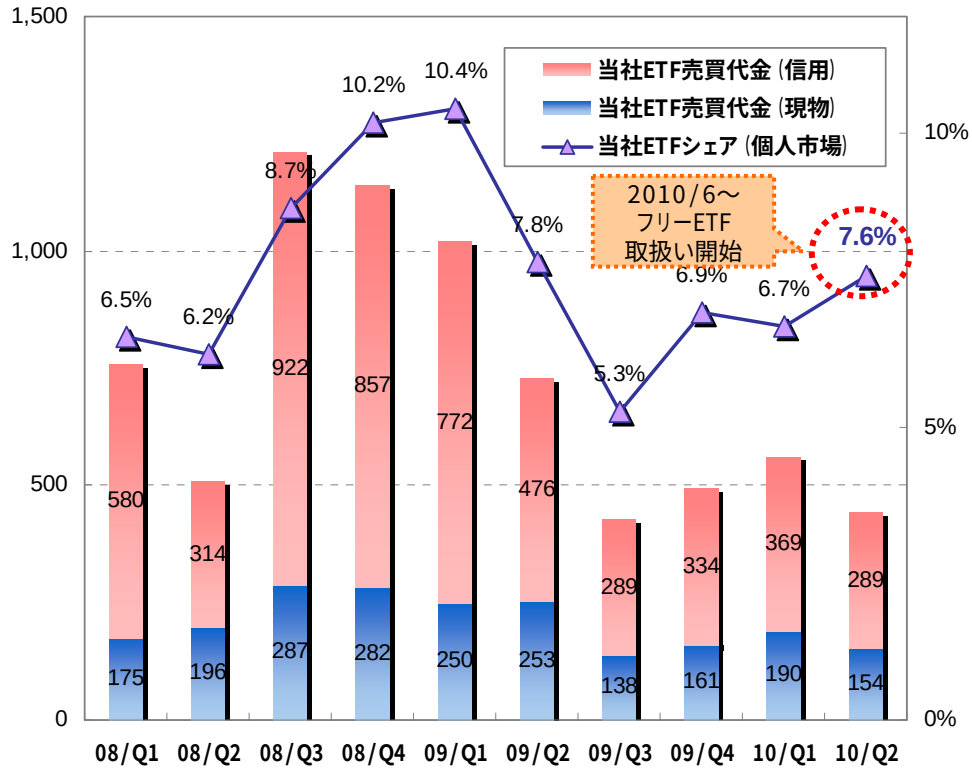
※: ＊ は日計り時決済手数料105円。

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

投資信託の取り組み

- ✓ 上場投資信託（ＥＴＦ）はＭＵＦＧグループ連携を活かし、主要ネット証券初の「フリーＥＴＦ」（手数料無料上場投信）や「貴金属上場信託」など当社ならではのラインアップ。
- ✓ 1,000円から積立が可能な「千円積立」を提供。投信銘柄の拡充にも注力。
- ✓ 投資信託を低コストで提供。ノーロードファンドの拡充に加え、フリーＥＴＦの拡大も検討。
- ✓ 外貨建てＭＭＦの取扱い開始。海外商品、金利商品のニーズを取り込む。

（百万円/日）　当社ＥＴＦ売買代金（1日あたり）と個人ＥＴＦ市場シェア



※シェアは東京証券取引所、および大阪証券取引所公表数値より、ＥＴＦの個人委託売買に占める割合を当社にて算出

当社フリーＥＴＦ、貴金属上場信託　取扱い一覧

	銘柄名	コード	取引所
フリーＥＴＦ	ＭＡＸＩＳ トピックス･コア30上場投信	1344	東証
	ＭＡＸＩＳ 日経225上場投信	1346	大証
	ＭＡＸＩＳ トピックス上場投信	1348	東証
貴金属上場信託	純金ＥＴＦ	1540	東証
	純プラチナＥＴＦ	1541	東証
	純銀ＥＴＦ	1542	東証
	純パラジウムＥＴＦ	1543	東証

当社取扱い投信（eMAXISシリーズ）と他投信との信託報酬比較

カテゴリー	eMAXISシリーズ	カテゴリー平均
国内株式	0.42%	1.22%
国内債券	0.42%	0.45%
国内リート	0.42%	0.80%
全世界株式	0.63%	― %
先進国株式	0.63%	1.36%
先進国債券	0.63%	1.00%
先進国リート	0.63%	1.30%
新興国株式	0.63%	1.37%
新興国債券	0.63%	1.31%

（※上記信託報酬率は税込）

当社は低コストで投信・ＥＴＦを個人投資家へ提供

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

III. 経営目標

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Quality for You MUFG

当社の経営目標と株主還元策

■ ROE

- ✓ 当社は、企業価値最大化のためには自己資本に対する利益率の向上がその基盤になると考え、ROE（自己資本利益率）を重視しており、20%を経営目標としています。
- ✓ 2011年3月期第2四半期累計期間のROE（年換算）は8.5%となりました。

■ 配当方針

- ✓ 当社は、内部留保および資本効率性等の状況の変化に対応しつつ柔軟な株主還元を行えるよう、配当性向30%以上の配当の実施を基本方針としております。

  ※2010年3月期末配当は、1株あたり2,000円（配当性向58.2%：創業10周年記念配当700円を含む）を実施。

■ 株主還元策

- ✓ 2010年4月1日に株式200分割および単元株制度の採用（1単元100株）を実施。また、2010年4月27日～5月28日まで200万株（発行済株式数の約1%）、約9億円の自己株式を取得。
- ✓ 株主還元は、さまざまな方策を検討しており、今後も積極的におこなっていく方針です。

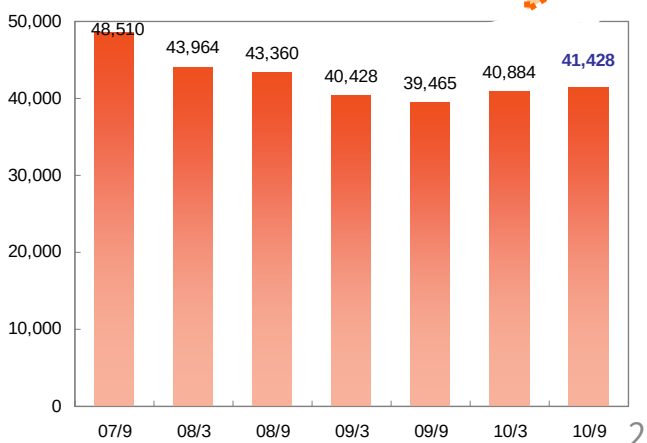
個人株主数は増加。
個人株主のうち50%超が
当社のお客さま。

直近の株主還元実施状況

決算期	自己株式取得額：①	期末配当金総額：②	合計額：①+②	当期純利益	株主還元性向
2008年3月期	3,698百万円（30,000株）	1,898百万円（1株当たり2,000円）	5,597百万円	6,006百万円	93.2%
2009年3月期	5,553百万円（50,000株）	1,170百万円（1株当たり1,300円）	6,722百万円	3,643百万円	184.5%
2010年3月期	なし	1,800百万円（1株当たり2,000円）	1,800百万円	3,092百万円	58.2%
2011年3月期	**897百万円（200万株）**	—	—	—	—

※ 株主還元性向＝（自己株式取得総額と配当金額総額の合計金額）÷（当期純利益）にて算出

個人株主数の推移（単位：人。単元未満株主含む）



© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

当社の戦略　～マーケティング競争からインフラ競争の時代へ～

「最良執行」時代の到来～執行競争の激化

- ●規制環境　－EU金融商品市場指令MiFIDの示唆－
- ●アンバンドリング（執行とアドバイスの分離）の進展
- ●アルゴリズム取引/HFT（高頻度取引）の普及
- ●レイテンシ（応答処理速度）の高速化
- ●コロケーションなどIT基盤の高度化
- ●株券電子化を踏まえた金融ｻｰﾋﾞｽの情報処理化

取引所間競争

- ●上場デリバティブ商品等の拡充
  ⇒新商品への柔軟な対応能力

金融一体課税への方向性

- ●金融コングロマリットとしての
  総合力を活用

kabu.com

モバイルチャネル対応

iPad、スマートフォン（iPhone、アンドロイド等）対応

MUFGグループとの提携

金融商品仲介ビジネス

銀行代理業務

新商品/新サービスの連携

モルガン・スタンレーとの提携

グローバル・ネットワークの活用

財務優位性

MUFGの信用力を背景とした高格付

有力外資系証券とのネットワーク

PTS、貸株

取引所新システムに対応した高速システム

国内唯一オークション方式を採用するPTS

全銀システムと連携した決済インフラ

マルチカレンシー対応
24時間オンライン稼動の
勘定系システム

NEW

内製化されたオープンなシステム

「競争ルールの転換」後への布石　～時代のニーズを支える強固なIT基盤と財務基盤～

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

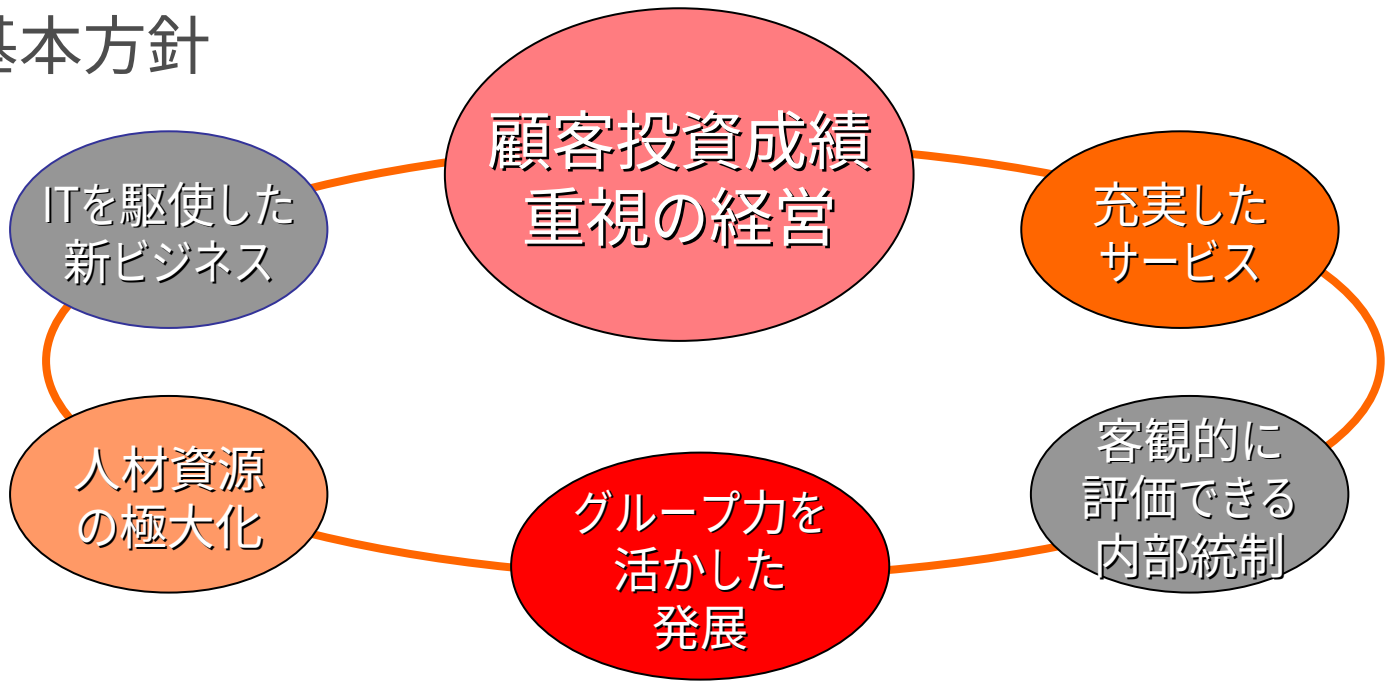
当社の経営理念･経営方針

■経営理念

顧客投資成績重視の経営

個人投資家へ 「リスク管理追求型」 というコンセプトのもとに、
利便性と安定性を徹底的に追求した独自サービスを提供するとともに、
啓蒙を図り「新しい投資スタイル」を提供します。

■経営基本方針



© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

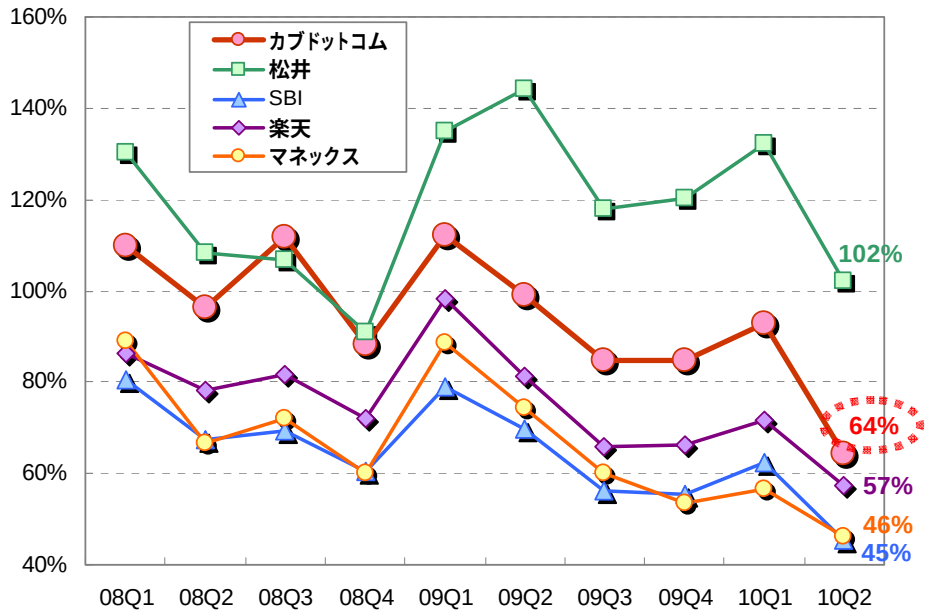
IV. その他 (業務計数等)

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

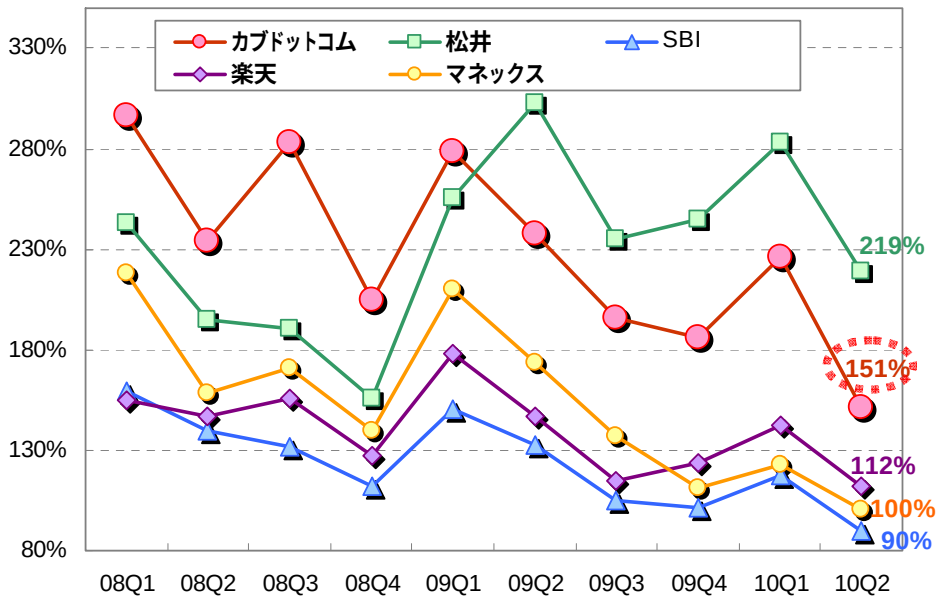
コストカバー率（委託手数料ベース）

- ✓ 販管費は前四半期比8%減少したものの、株式手数料の減少を主因として、委託手数料／販管費率は大きく悪化。
- ✓ システム関連費用も4%減少したが、委託手数料／システム関連費率も悪化。

コストカバー率　（委託手数料/販管費）



コストカバー率　（委託手数料/システム関連費）



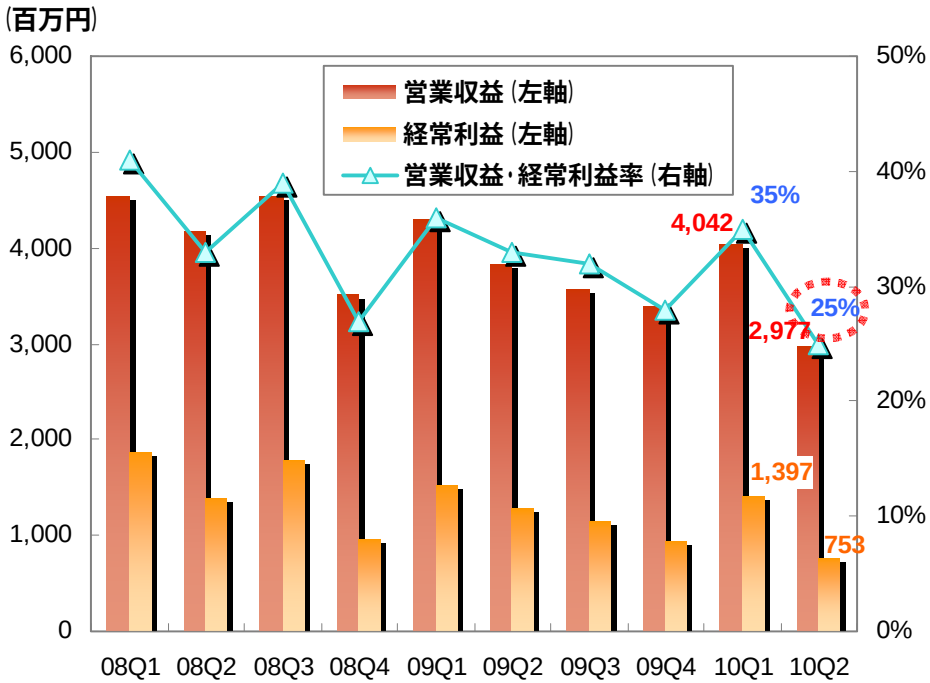
※各社開示資料より当社算出
※楽天証券は、楽天証券（個別）の決算公表資料より当社算出
※システム関連費＝不動産関係費＋事務費＋減価償却費

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

営業収益経常利益率

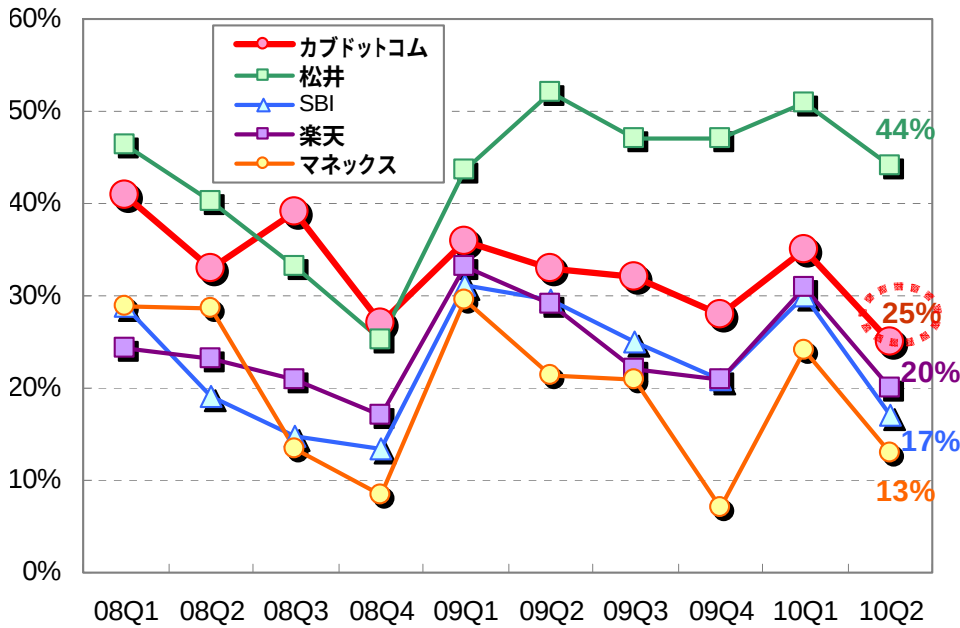
✓ 販管費の改善はあったものの、手数料収入および金融収支等の減少により、営業収益経常利益率は25%と前四半期比悪化。

営業収益経常利益率
ならびに営業収益／経常利益



※営業収益経常利益率は、四半期毎の営業収益、経常利益で算出

オンライン専業証券大手５社
営業収益経常利益率の推移

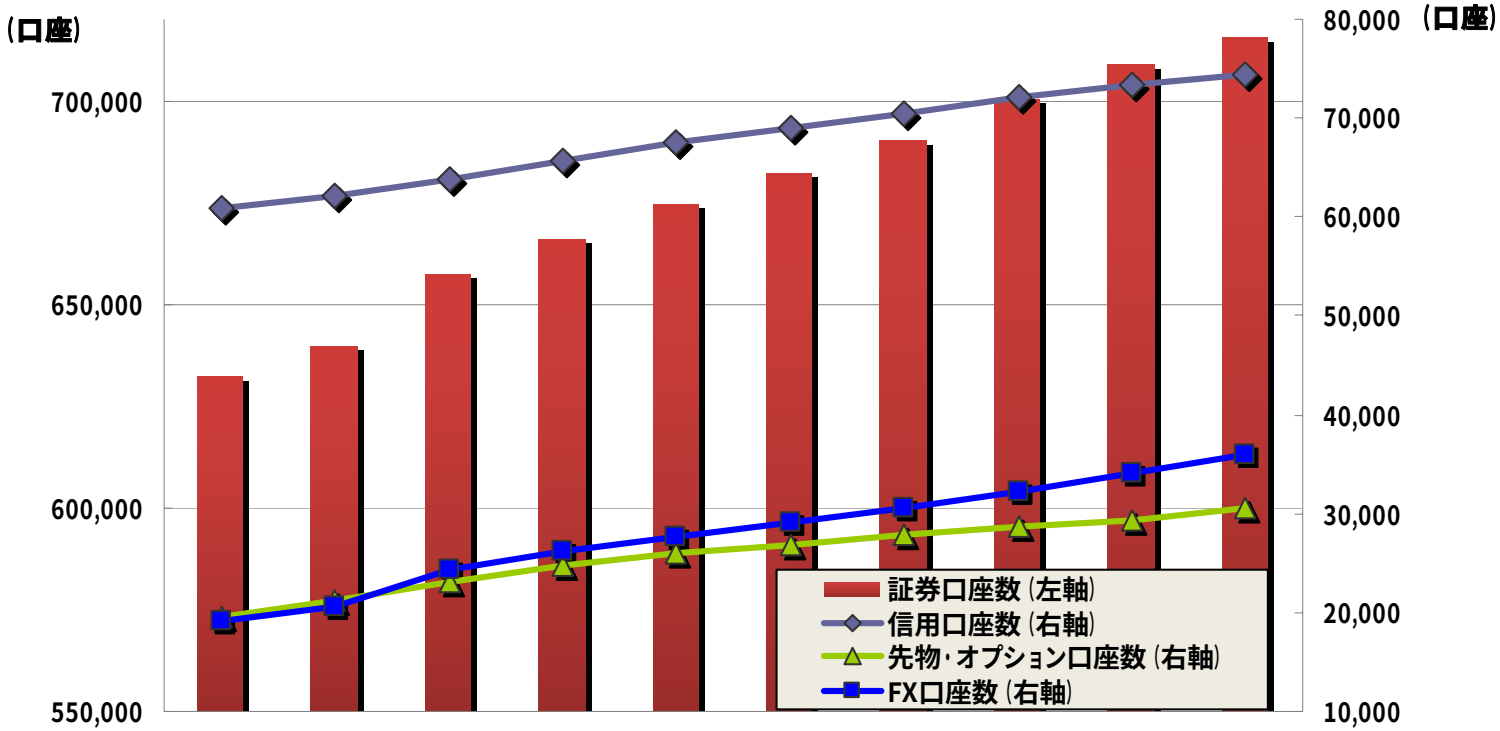


※各社開示資料より当社算出
※楽天は、楽天証券（個別）の決算公表資料より当社算出

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

口座数

✓ 当四半期末の証券口座数は、715,421口座。三菱東京ＵＦＪ銀行経由の仲介口座獲得への更なる注力をはじめ、口座数増加を図る。



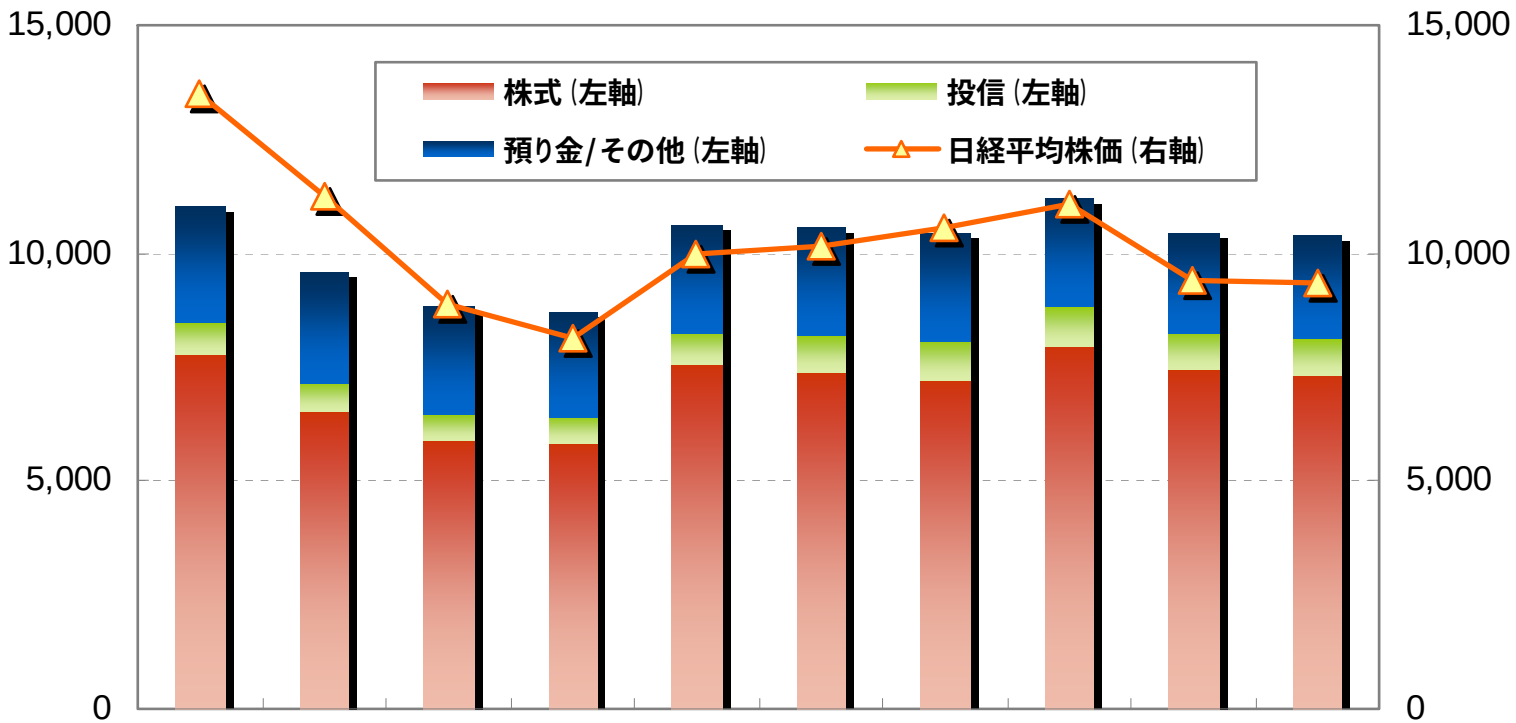
	2008年				2009年				2010年	
	Q1末	Q2末	Q3末	Q4末	Q1末	Q2末	Q3末	Q4末	Q1末	Q2末
証券口座数（左軸）	631,998	639,832	657,374	665,922	674,659	682,289	690,015	700,162	708,753	715,421
信用口座数（右軸）	60,805	62,168	63,859	65,599	67,516	68,941	70,430	72,007	73,341	74,406
先物・オプション口座数（右軸）	19,597	21,140	23,009	24,649	25,906	26,821	27,767	28,604	29,366	30,503
FX口座数（右軸）	19,060	20,631	24,351	26,257	27,642	29,166	30,478	32,199	34,027	35,927
（参考）抹消口座数	1,217	1,055	1,259	1,205	1,038	973	997	958	1,254	915

※ 上記証券口座数、信用口座数、先物・オプション口座数、ＦＸ口座数はすべて抹消済口座数を除いたもの

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

預り資産

✓ 日経平均株価指数（終値）は前期末比ほぼ横ばい。当社預り資産は1兆374億円と前四半期末比1％の減少にとどまる。



	2008年				2009年				2010年			
	Q1末	Q2末	Q3末	Q4末	Q1末	Q2末	Q3末	Q4末	Q1末	Q2末	比率	前四半期比
株式	7,761	6,499	5,909	5,811	7,543	7,412	7,237	7,965	7,433	7,311	70%	-2%
投信	735	644	544	565	705	763	812	856	803	848	8%	+6%
預り金/その他	2,517	2,451	2,401	2,336	2,380	2,409	2,421	2,384	2,222	2,214	21%	-0%
合計	11,014	9,595	8,855	8,713	10,629	10,585	10,471	11,207	10,459	10,374	100%	-1%
日経平均株価	13,481	11,260	8,860	8,110	9,958	10,133	10,546	11,089	9,382	9,369		-0%

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

Quality for You
MUFG

株式差引入庫額

- ✓ 株式差引入庫額は1,776百万円と前四半期比減少。
- ✓ 一部銘柄の大口移管もありネット大手4社に対しては出庫超となったが、大型TOB等あるも対面大手3社、およびその他証券・信託銀行からは引き続き入庫超。

（単位：百万円）

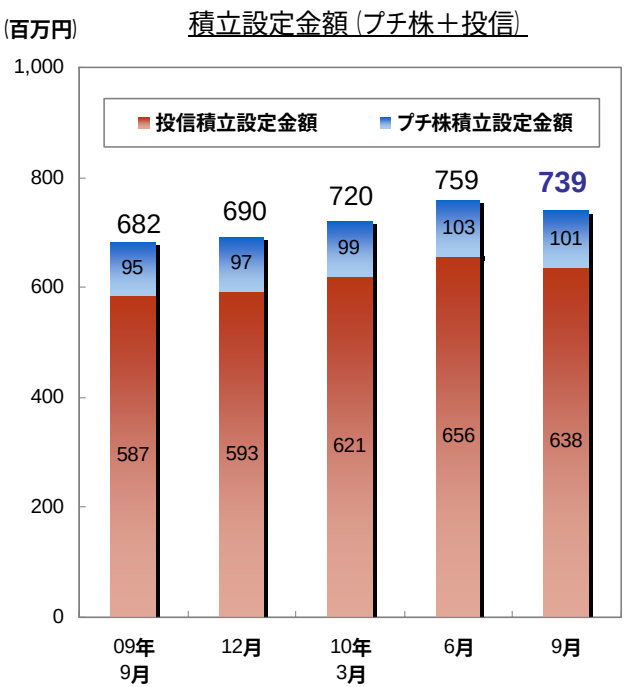
		2008年				2009年				2010年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
	A証券	204	164	4	101	286	72	-15	316	76	-53
	B証券	3,392	381	-20	504	-269	-394	-3,739	-473	-1,096	-320
	C証券	250	229	98	125	19	59	-52	-78	-80	-703
	D証券	1,248	388	926	289	296	502	147	160	735	7
ネット大手4社　計①		5,094	1,163	1,009	1,018	333	239	-3,659	-75	-364	-1,069
	X証券	3,114	1,855	592	-562	337	115	1,096	3,382	429	188
	Y証券	1,412	-197	225	227	129	-1,449	43	-49	97	8
	Z証券	305	377	218	339	239	119	533	1,115	284	217
対面大手3社　計②		4,830	2,035	1,035	4	706	-1,215	1,671	4,448	810	414
その他証券・信託銀行③		6,347	3,468	2,474	2,212	3,996	4,661	3,426	1,683	2,481	2,432
振替差引入庫額①＋②＋③		16,272	6,665	4,518	3,234	5,034	3,686	1,438	6,056	2,928	1,776

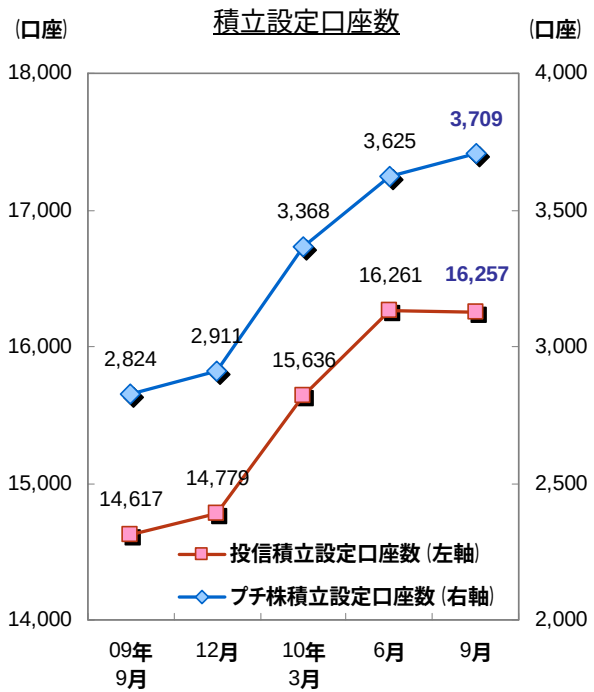
※ 株式差引入庫額は、「他社から当社への入庫額－当社から他社への出庫額」にて算出
※ 入庫額・出庫額は、当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理月の月末時点の時価にて換算
※ 2008年Q3までの直接入庫（タンス株入庫）は上表に含んでいない

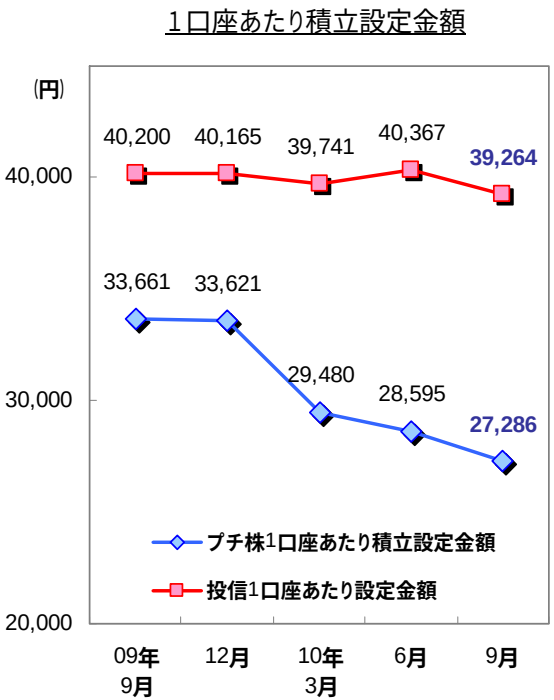
© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

投信・プチ株積立実績

- ✓ 毎月1,000円から積み立てできる「千円積立」を、「プチ株®（単元未満株取引）」と投資信託で取扱い。
- ✓ 2010年9月末での投信積立およびプチ株積立の合計設定額は739百万円。







※積立設定金額は月間の積立設定金額の合計
（グラフ上部数字は投信積立とプチ株積立の合計値）
※1口座あたり積立設定金額は「積立設定金額 ÷ 月間の積立設定口座の口座数」

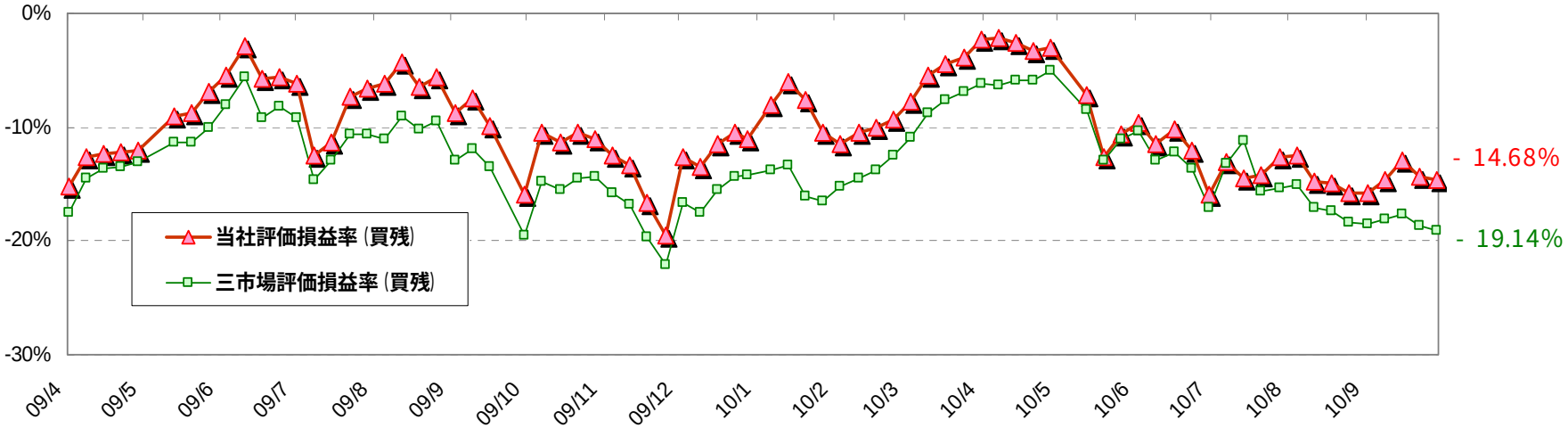
※積立設定口座数は月間の積立設定口座の口座数

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

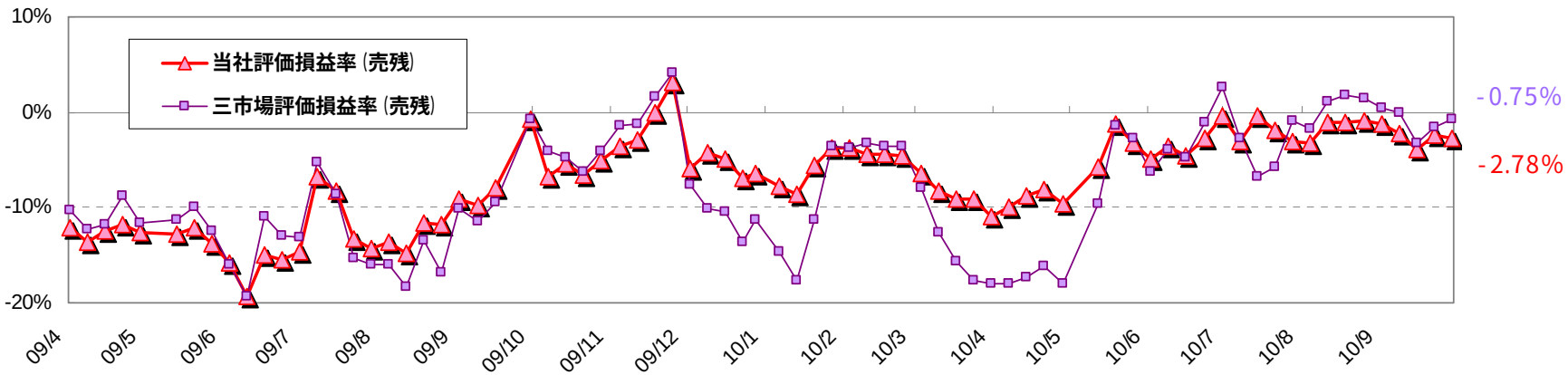
信用評価損益率

✓ 当社信用評価損益率と三市場信用評価損益率の較差はおおむねプラスを堅持。

当社信用評価損益率と三市場評価損益率（買のみ）



当社信用評価損益率と三市場評価損益率（売のみ）



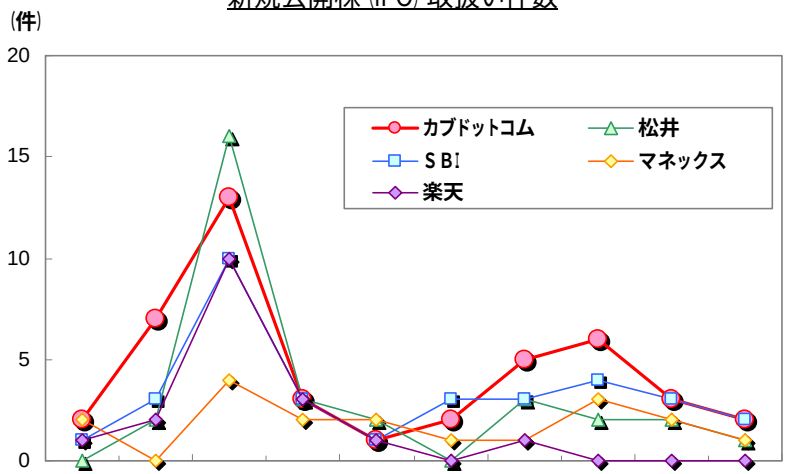
※ 三市場評価損益率は、東京証券取引所公表資料より当社算出
※ 三市場、当社ともに信用評価損益率は、「評価損益率＝評価損益÷信用建玉残高」 にて算出
※ グラフは、三市場、当社ともに各週最終営業日の信用評価損益率を表している。なお、2009年9月第4週の三市場評価損益率は公表されていない。

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

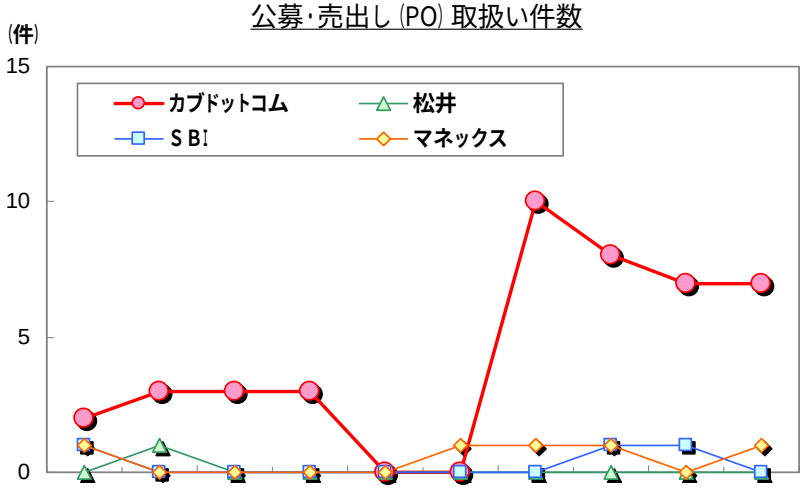
IPO・PO取扱い件数

- ✓ IPO・POの取扱い件数は引き続きオンライン証券大手5社中トップ。
- ✓ MUFGグループの強みを活かし、三菱UFJモルガン・スタンレー証券との連携により、今後もIPO・POの取扱いの拡充を図る。

新規公開株（IPO）取扱い件数



公募・売出し（PO）取扱い件数



	2008年				2009年				2010年	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
カブドットコム	2	7	13	3	1	2	5	6	3	2
松井	0	2	16	3	2	0	3	2	2	1
SBI	1	3	10	3	1	3	3	4	3	2
マネックス	2	0	4	2	2	1	1	3	2	1
楽天	1	2	10	3	1	0	1	0	0	0

	2008年				2009年				2010年	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
カブドットコム	2	3	3	3	0	0	10	8	7	7
松井	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
SBI	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
マネックス	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1

※ 各社ホームページ等公表資料より当社集計
※ 楽天証券のPO（公募/売出）取扱件数は非公表。公表されているIPO取扱件数のみを集計

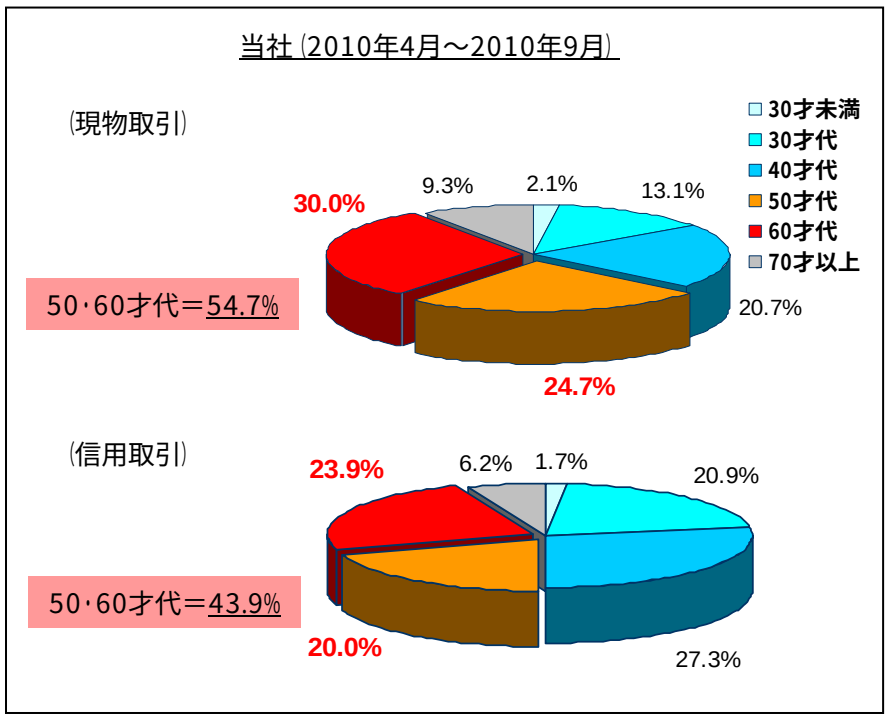
© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

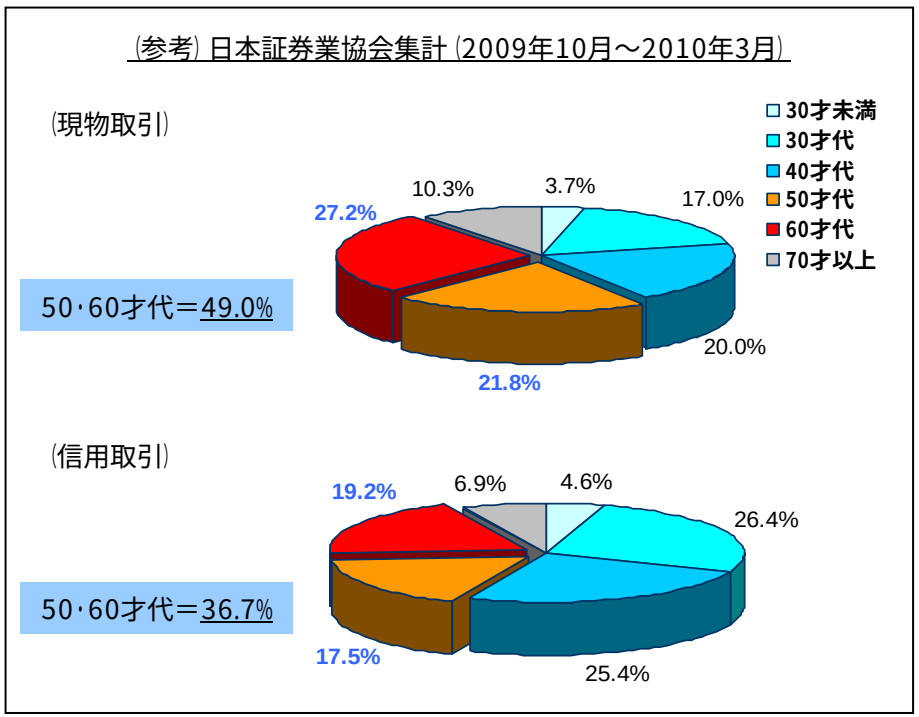
Quality for You

年代別株式取引の状況　～団塊世代の取込み～

- ✓ 退職・相続などに伴い、今後は投資／ＰＣリテラシーが高い団塊世代のオンライン取引の活発化が期待できる外部環境に。
- ✓ 当社の団塊世代前後（50代～60代）の取引シェアは、シニア割引などのマーケティング施策やＭＵＦＧブランドなどにより、他社に比べて高め。
- ✓ 退職・相続等により、大手対面証券等に滞留する金融資産が団塊世代に移転されると期待。

年代別インターネット株式取引金額





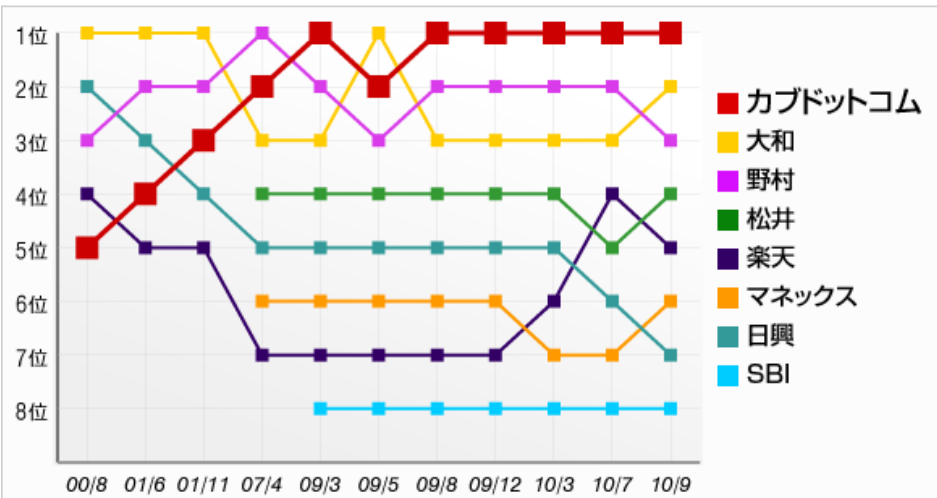
※　日本証券業協会公表数値より当社算出　（現物取引：回答44社、信用取引：回答48社）

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

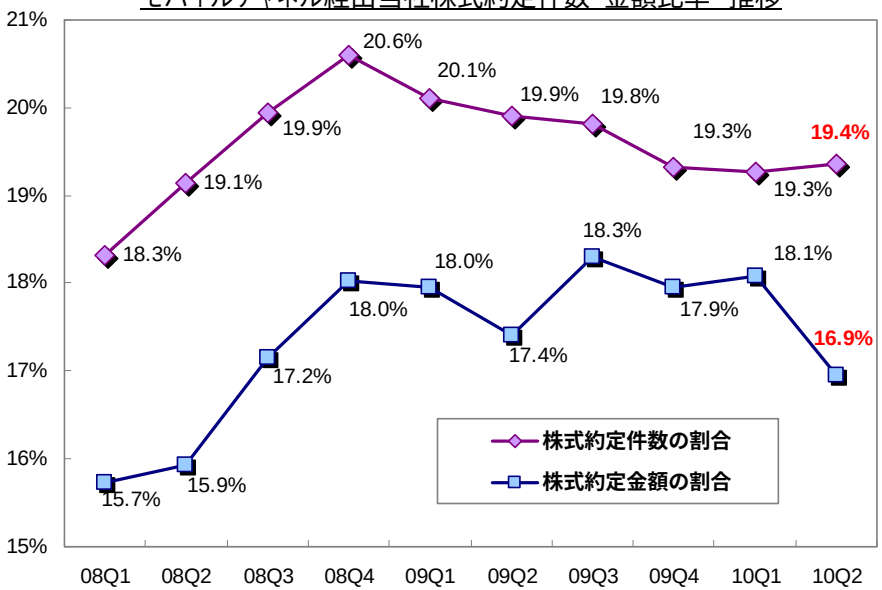
モバイルチャネル

- ✓ 内製化システムによる当社の技術力で、モバイルチャネルでもパソコン向けサイトと同様の商品をフルラインアップ。
- ✓ iPadやスマートフォン（iPhone/Android等）、新たなモバイルチャネルにも対応。
- ✓ 当四半期は、携帯用トレーディングツールのバージョンアップ、拡充を実施。
- ✓ 当社iモードサイトは、NTTドコモ証券ジャンル利用者数第1位を継続中。

iモード証券ジャンル　利用者ランキング



モバイルチャネル経由当社株式約定件数･金額比率　推移



当四半期の主なモバイルチャネルへの取り組み

- □ 携帯用トレーディングツール「kabuアプリ」大規模バージョンアップ（8月）
- □ iアプリ用トレーディングツール「kabu.com店頭ＦＸ」の提供開始（9月）

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

WEBサイトパフォーマンス

- ✓ 当社WEBサイトのパフォーマンス（レスポンスタイム、可用性、均一性）は第三者機関の評価で2010年6月度～8月度まで3ヶ月連続で主要ネット証券No.1。8月度のレスポンスタイムは、調査対象全業種中No.1。
- ✓ 堅牢なセキュリティとともに、お客さまにとって使いやすいWEBサイトを提供。

2010年8月度　国内WEBサイトパフォーマンス　ベンチマーク結果（ネット証券）※

レスポンスタイム（秒）

	6月度		7月度		8月度	
カブドットコム証券	0.473	1位	0.299	1位	0.293	1位
SBI証券	1.183	2位	1.643	3位	1.506	2位
松井証券	-	-	1.595	2位	1.690	3位
マネックス証券	1.196	3位	2.678	4位	2.605	4位
野村ジョイ	5.689	4位	5.794	5位	5.681	5位
楽天証券	7.430	5位	7.098	6位	7.110	6位
（業種平均）	3.194		3.185		3.148	

可用性（%）

	6月度		7月度		8月度	
カブドットコム証券	100	1位	100	1位	100	1位
楽天証券	100	1位	100	1位	100	1位
野村ジョイ	100	1位	100	1位	100	1位
マネックス証券	100	1位	99.64	5位	100	1位
松井証券	-	-	100	1位	99.86	5位
SBI証券	100	1位	100	1位	99.86	5位
（業種平均）	100		99.94		99.95	

均一性（秒）

	6月度		7月度		8月度	
カブドットコム証券	0.209	1位	0.066	1位	0.079	1位
SBI証券	0.454	2位	0.310	2位	0.248	2位
マネックス証券	0.710	3位	1.461	6位	1.197	3位
松井証券	-	-	0.441	3位	1.293	4位
楽天証券	2.009	5位	1.455	5位	1.332	5位
野村ジョイ	0.938	4位	0.984	4位	1.342	6位
（業種平均）	0.864		0.786		0.915	

- ✓ レスポンスタイム：WEBサイトのビジターが特定のURLにアクセスする際に、当該ページのコンテント全てが読み込まれるまでの時間
- ✓ 可用性：WEBサイトのビジターが特定のURLにアクセスする際に、アクセスすることができた割合
- ✓ 均一性：WEBサイトのレスポンスタイムのばらつき

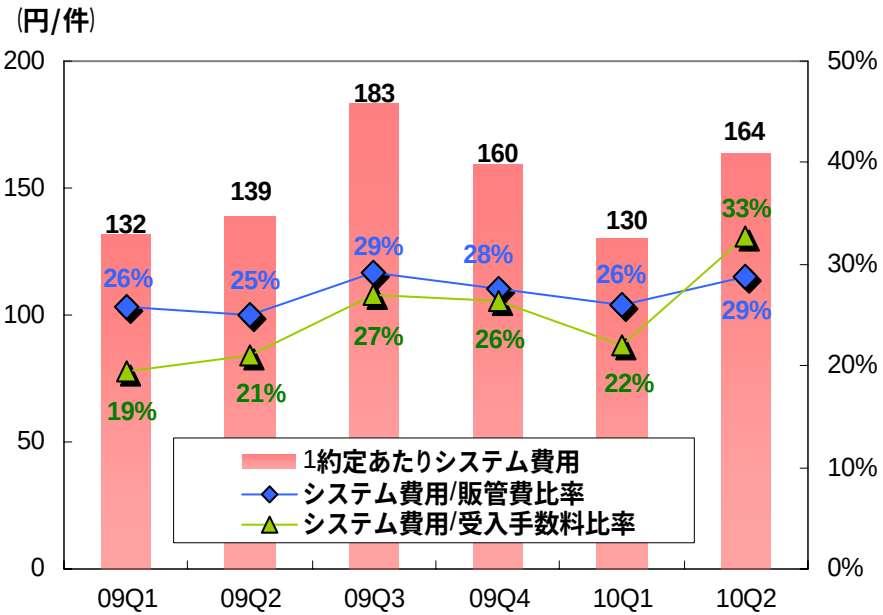
※日本コンピュウェア株式会社　2010年7月12日付プレスリリース『日本コンピュウェア、日本におけるWebサイトパフォーマンスベンチマークを発表』（http://offers.compuware.com/register?cid=70170000000Jx7r）、2010年8月26日付プレスリリース『日本コンピュウェア、2010年7月度Webサイトパフォーマンスベンチマークを発表』（http://offers.compuware.com/register?cid=70170000000KEb4）、2010年10月20日付プレスリリース『日本コンピュウェア、2010年8月度Webサイトパフォーマンスベンチマークを発表』（URL: http://offers.compuware.com/register?cid=70170000000fLdm）より引用。

なお、上記プレスリリースのURLは変更される可能性もあります。

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

システム関連の開示

1約定あたりシステム費用等推移



※1約定あたりシステム費用は、FX取引を除く取扱い全商品を基に算出しております。

主なシステム障害　（2010年7月-9月）

・特段大きなシステム障害の発生はございませんでした。

主な設備増強・基盤整備　（2010年7月-9月）

月日	設備増強・基盤整備の詳細
8月5日	携帯3キャリア向け無料トレーディングツール「kabuアプリ」について、大幅な機能強化を実施しました。カブボードや板情報画面の自動更新機能を追加し、登録銘柄上限も10倍規模の180銘柄に拡充、株式ランキング情報など、新たな情報の提供も開始しました。 ※au版は10/7より提供開始
8月20日	最新のグリッドデータベースを採用した高速な発注基盤を活用し、「1秒保証」サービスを開始しました。現物・信用注文向けに、アプリケーションサーバが受託し注文取次サーバが取引所へ　発注するまでの時間が1秒を超えた場合に、手数料を無料化　します。
9月30日	ウェブサーバの設定を改善し、効率的により多くのお客様情報を処理する事が出来るようになりました。また、自動ログアウトするまでの時間をこれまでの3倍に延長しました。
9月30日	iアプリ用「kabu.com店頭FX」の無料提供を開始しました。為替レートが見やすく、最短3秒での自動レート更新や充実したチャート機能が特徴です。iアプリは全7種類になりました。

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

私設取引システム（kabu.comPTS）関連の開示

■ kabu.comPTSの小数点約定率が上昇

・当四半期のkabu.comPTSの売買高は前四半期比で21.4%上昇したが、株式市場全体の低迷の影響から売買代金は前四半期とほぼ横ばい。

・7月20日の日本証券クリアリング機構（JSCC）での決済への対応以後、主市場の値段と比較しながら、小数点を含めたより細かい呼値での取引が増え、主要銘柄の小数点の約定率はJSCC対応以前の5割程度から、8割を超えるまで上昇した。

■PTSの空売り規制について取引所と同等のルールに対応

・PTSの空売り規制対応に関する変更認可を9月に金融庁より取得。

・当社が運営する国内唯一取引所と同じである競売買（オークション）方式のPTSは、参加証券からの空売りについて、取引所同様の規制内で取引可能となった（10月4日より実施済み。尚、信用取引による空売りは金融庁監督指針等により不可）。

■参加証券は当社を含め計10社にまで拡大

・kabu.comPTSの参加証券について、米大手証券のJPモルガン証券株式会社が、参加証券として当社と合意。

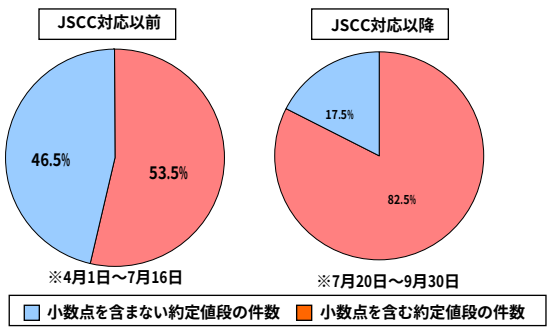
・これにより、当社を含めて参加証券は10社となった。

<1日あたりの売買代金/売買高>

※当四半期より、kabu.comPTS-オークション及びkabu.comPTS-VWAPの合算値

<7月20日のJSCC対応後の決済イメージ>

<kabu.comPTSにおける主要銘柄の小数点約定率>



※売買代金上位30銘柄のうち、基準値が5,000円以下（呼値の刻みが0.1円）の銘柄より算出

■ 今後の取り組み等

- 取引所と同等のJSCC対応・空売り規制対応を基盤に、私設市場特有の小数点の価格も含む呼値の刻みの縮小により、取引所の補完的かつ代替的市場としての利用促進を図る。今後外資系証券の他、国内証券が参加予定。
- PTSのVWAP取引について、専用線接続などのインフラや開発コストなく開始できるBloomberg端末のEMSX機能（執行管理システム）の利用を推進し、参加者と流動性の一層の拡大に努める。

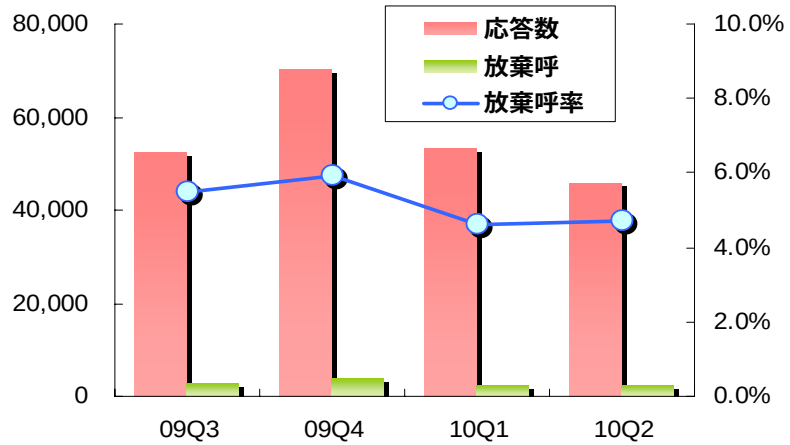
■ 参加証券一覧（2010年10月現在。順不同）

三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券 / モルガン・スタンレーMUFG証券 / BNPパリバ証券 / クレディ・スイス証券 / UBS証券 / メリルリンチ日本証券
シティグループ証券 / インスティネット証券 / JPモルガン証券 / カブドットコム証券

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

お客様サポートセンター関連の開示

お客様サポートセンターの利用状況



	2009年		2010年	
	Q3	Q4	Q1	Q2
応答数	52,355	70,189	53,186	46,006
放棄呼	2,880	3,924	2,462	2,206
放棄呼率	5.5%	5.9%	4.6%	4.7%

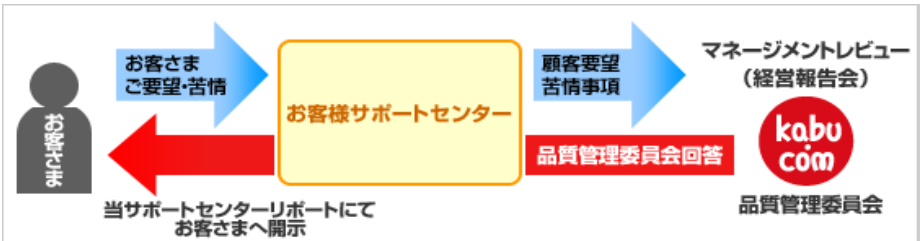
3 Stars Support Portal
HDI-Japan 2009-2010

2009-2010年におけるHDIの格付けベンチマーキングで、
サポートポータル・・最高格付けの「★★★三つ星」
問合せ窓口・・「★★二つ星」　を獲得しました！

当四半期におけるご要望の主な実現化

●タイムアウトするまでのセッション時間を長くしてほしい。

9月30日（木）より、自動ログアウト時間を60分より180分に延長しました。これにより場中にセッションが切れることなく快適にご利用いただけるようになりました。



当社では、国際規格であるISO10002に基づき、品質マネジメントのPDCAを徹底して実行しております。その一環として、オペレーターがお客さまよりいただきました「ご意見・ご要望」は、毎月当社品質管理委員会にて経営者に報告され、その結果サービスが改善された事項については「サポートセンターリポート」（http://kabu.com/support/report.asp）にて月次で開示いたしております。
また、2010年7月より、苦情管理体制を強化し、苦情対応結果の定期的な検証を行うことにより、お客さまのご意見をより実務的に実現できる環境を整えました。

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

知的財産関連の活動状況

- ✓ 当社では、新技術およびそのサービス名称を「特許権」「商標権」として権利化することにより企業の保有する知的資産の価値として蓄積し、企業価値の向上に結びつけるため、知的財産戦略に積極的に取り組んでおります。
- ✓ ２Ｑには「パーソナル情報配信」に関連する特許を新たに取得しております。

□ 登録特許の件数はオンライン証券最多の１２件（共同特許含む）
□ 経済産業省から公表された「知的財産情報開示指針」に準拠した「知的財産報告書」を当社ホームページで開示
□ 自動売買等の注文発注システムをはじめ、資産管理（自動残高維持）や金融商品仲介に関連する技術など、当社独自のサービスに関する特許を多数出願中

＜参考＞当社の取得する特許

①注文発注に関連する特許（自動売買等）

第3734168号	【自動売買】土指値（プラマイさしね®）の処理システム
第3754009号	【自動売買】W指値®の利益確定とロスカット幅を自動設定するUターン注文®の処理システム
第3875206号	【自動売買】当社の逆指値注文をはじめとする自動売買を実現するための発注装置
第3966475号	SLA（サービス品質保証制度）を実現するための技術
第4076512号	【自動売買】土指値（プラマイさしね®）の一部の機能を実現するための技術
第4132069号	【自動売買】Uターン注文®における一部の機能を実現させるための技術
第4420384号	【自動売買】注文制限値幅自動値段調整機能を実現させるための技術

②資産管理に関連する特許（自動残高維持等）

第4471375号	お客さまからの預り金の残高を所定の水準に自動的に維持する技術
第4542444号	お客さまからの保証金や証拠金の残高を所定の水準に自動的に維持する技術

③金融商品仲介に関連する特許（三菱東京UFJ銀行との共同特許）

第3719711号	電話をかけ直すことなく、コールセンター間の通話を可能にする中継方法
第3916242号	オンラインによる証券口座開設ならびに、開設後の自動ログインによる証券取引

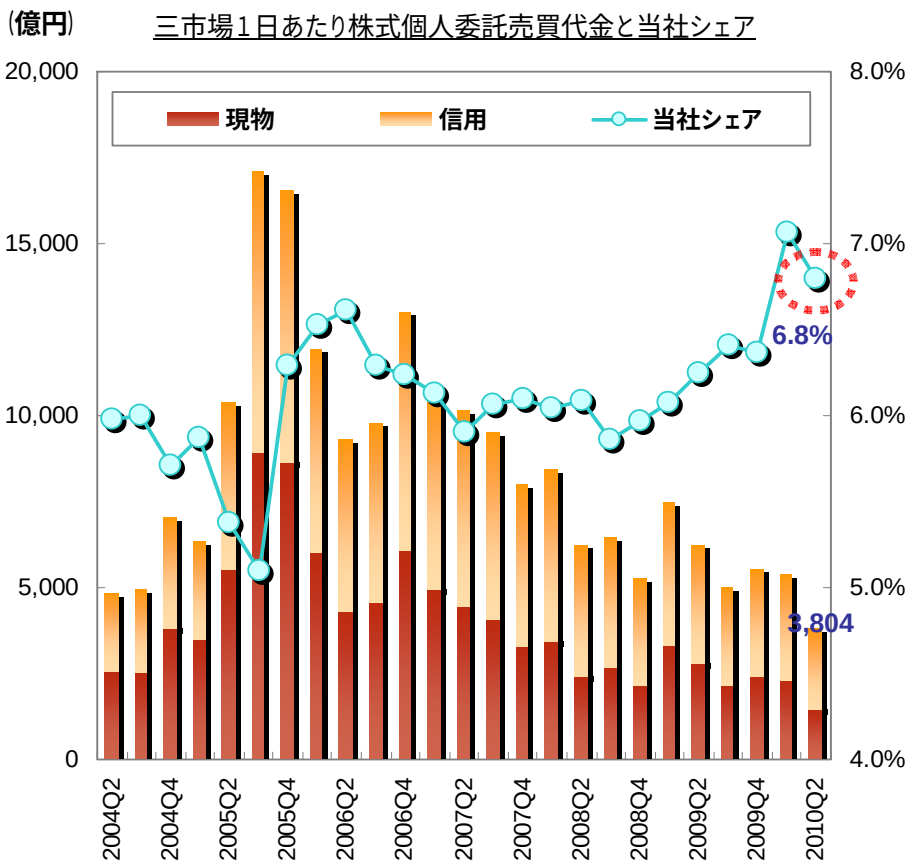
④その他の特許

第4562342号	通信ネットワークを通じて利用者の端末装置にパーソナル情報を配信する技術

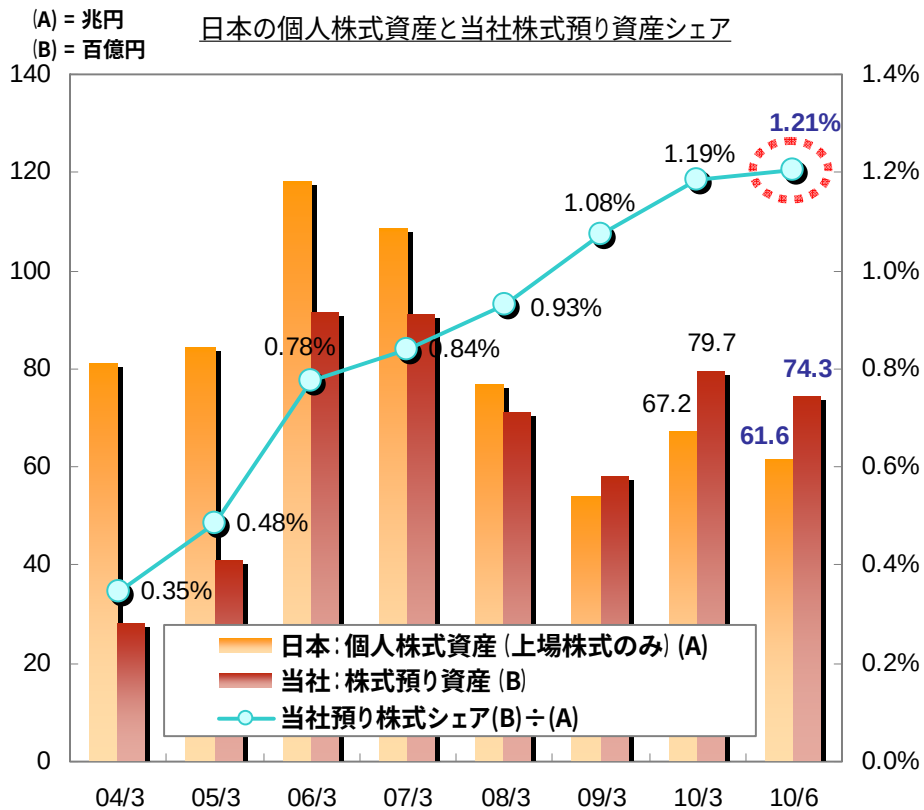
© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

個人株式売買代金、個人金融資産の動向

- ✓ 当四半期の１日あたり株式個人委託売買代金は3,804億円と低調。
- ✓ 日本の個人金融資産1,452兆円のうち、株式（上場株式のみ）は61兆円（2010年６月末時点）。当社株式預り資産が占める割合（シェア）は引き続き増加。



※東京証券取引所公表資料より当社算出



※出所：日本銀行「資金循環統計」
※「日本：個人株式資産」は、上場株式のみの残高
※当社預り株式シェアは、（当社預り株式残高）÷（日本個人株式資産）にて算出

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

kabu.comは積極的な開示を続けております

○IR情報　http://kabu.com/company/

○決算･財務情報
http://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.asp

○業務情報（委託手数料の推移）
http://kabu.com/company/disclosure/comission.asp

○業務情報（注文・約定情報等の推移）
http://kabu.com/company/disclosure/order.asp

○kabu.comPTSリポート　http://kabu.com/pts/report.asp

○売買審査状況　http://kabu.com/company/disclosure/mktsurvey/

○SLA精査状況　http://kabu.com/company/disclosure/sla.asp

○コーポレートガバナンス報告書
http://kabu.com/company/governance.asp

○品質管理システム報告書
http://kabu.com/company/disclosure/qms_report.asp

■お取引にあたってご注意いただきたい事項
各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。当社ホームページにて取引内容、リスク等の説明内容事項をご覧下さい。

※証券投資は、価格変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は必ず約定するものではありません。お取引の際は、目論見書、約款･規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
※投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬･解約手数料･その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件･料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書（商品毎）および目論見書補完書面（投資信託）をよくお読みください。
※信用取引･指数先物取引･指数オプション取引･海外指数先物取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。又、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。
※外国為替証拠金取引（FX）は、取引金額がお客さまが預託しなければならない保証金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。又、外国為替証拠金取引は元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。
※私設取引システム（PTS）業務の認可を取得したカブドットコム証券が開設した「kabu.comPTS」は、証券取引所とは異なるため、一般的に流動性が低く値動きが大きくなる可能性がありますので、お取引の際は注文状況をご確認の上でご注文ください。
※お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
※各商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ（http://kabu.com/cost）等をご参照ください。手数料には消費税が含まれています。
※掲載情報の最新情報は当社ホームページ（http://kabu.com/）にてご確認ください。

◆ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちらをご参照ください。　→ http://kabu.com/info/escapeclause.asp

カブドットコム証券
わたしたちはMUFGです。MUFG

・金融商品取引業者登録：関東財務局長（金商）第61号
・銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第８号
・加入協会：日本証券業協会・金融先物取引業協会

© 2001-2010 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.